

2025 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
------	-----------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所の実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどを行い、できるだけわかりやすく記述してください。

なお、2025 年度に採択を受けた研究所重点研究プログラムの詳細な実績報告は、プロジェクト毎に書式 B に記述のうえ提出してください。

1. 研究所全体の研究活動と重点研究プロジェクトの位置づけ

歴史都市防災研究所では、歴史都市の文化的価値の維持保全に関わる人文・社会科学系と、災害科学に関わる理・工学系を横断する文理融合の研究体制を構築して、「文化遺産防災学」の学術領域において、国際的にも特色ある研究・教育活動を継続している。以下の 2 つのプロジェクトを通じた活動を通じ、大学院生や若手研究者も含むチームで、文化遺産防災の意義と課題、研究体制のあり方について共有し、研究・教育・社会貢献の融合した活動モデルの実践に努めた。

2. 文化遺産防災学の社会連携を見据えた連携ネットワークの拡充と研究教育環境の融合

(1) 文理協働の研究体制の再整備：2025 年度は、阪神・淡路大震災から 30 年など文化遺産防災分野の節目であり、研究所の連携体制の再構築を重要課題と位置づけ、対面研究会の実施などを通じて、大型外部資金の申請、研究所内における R6 能登半島地震のタスクフォース立ち上げなど、研究所として一体感を持った活動機会の創出に努めた。

(2) 学外連携ネットワークの強靱化：2025 年度は、歴史都市防災シンポジウムにおける日中韓の連携企画、展示企画を通じた学外組織とのシンポジウム共催、国内外の自治体の防災に関わる専門家との交流、企業の防災に関わる活動との連携の模索、附属校の高校生の被災地訪問など新たな連携の開拓に向けた取り組みを活発に行った。文化遺産防災の意義は、実際の歴史都市のサイトを対象とした社会連携や社会貢献と密接に連携する点にあり、実際の伝統的建造物群保存地区の被災地の復興支援活動や、防災計画策定への支援など、他大学、企業、自治体との協働調査や連携の強化に努めた。

(3) 若手育成・情報発信：文化遺産防災の意義を発信するために、自治体、企業に対する取り組み紹介や、出前授業や高大連携の枠組みを生かして、若い世代に対する防災教育や文化遺産防災の取り組みの社会的な意義を継続的に発信した。また研究所活動の持続可能な活性化のため、メンバーの活動エフォート評価やタスクフォースの活用による活動の分散化の仕組みづくり、若手研修者育成を目的とした院生の海外学術雑誌への論文投稿助成の研究所独自の取り組みを維持した。

3. 国際的なニーズに応える総合的な文化遺産防災への貢献

(1) 国際研修コースの総括と知見の共有：これまでの 18 回にわたるユネスコチェア「文化遺産と危機管理」国際研修(ITC)の成果と課題を総括し、今後の方向性を検討するための取り組みとして、2026 年度に国際研修 20 周年シンポジウムを開催する。今年度は、その準備として過年度研修生を対象にヒアリング・アンケート調査を行った。さらにこれまでの研修で用いた高品質な講義教材、過年度研修生による研修成果物をオンラインアーカイブにまとめコンテンツ充実のため新たに動画 2 本を作成し、教育コンテンツとして国内外の文化遺産関係者、学生等に展開するための web プラットフォームを作成した。

(2) 若手研究者のキャリア形成とインターンシップ事業の展開：文化遺産防災分野の若手支援のもと、2 名の専門研究員により、国際研修事業活性化と研究高度化を図った。サマースクールの実施により、参加者の学部生とサポーターの大学院生による講義・視察・ワークショップへの積極的な参加を通じて、実践的な文化遺産防災学習と交流の機会を提供した。ユネスコ国内委員会が推進する「ユネスコ研修プログラム」への参加も視野に、学生のキャリア形成を推進する。

(3) 成果の発信と過年度研修生の活躍事例の活用：国際的な専門家との連携強化のため 7～9 月に 2024 年度研修生の成果を展示し、内閣府の「総合知」活用事例へ掲載された。若手研究者育成のため、9 月に中国・東南大学で開催された国際フィールドスクール UNESCO-NUS-SEU Field School2025, “Cultural Heritage and Climate Change in Asia: Impacts, Adaptation, and Mitigation” へ専門研究員 1 名と大学院生 5 名を派遣した。また、2026 年 3 月に UNESCO Bangkok 主催、当研究所協力にて行われた気候変動と文化遺産に関する国際会議において、登壇発表とワークショップのサポートを行った。

Ⅱ. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2026 年 3 月 31 日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長	吉富 信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授
運営委員	村中 亮夫	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	大窪 健之	理工学部環境都市工学科	教授
	大場 修	衣笠総合研究機構	教授
	小川 圭一	理工学部環境都市工学科	教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	河角 直美	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	金 度源	理工学部環境都市工学科	准教授
	寺床 幸雄	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	花岡 和聖	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	深川 良一	総合科学技術研究機構	招聘教授
	藤本 将光	理工学部環境都市工学科	准教授
	向井 純子	衣笠総合研究機構	准教授
	矢野 桂司	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	阿部 俊彦	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	泉 知論	理工学部電子情報工学科	教授
	伊藤 真一	理工学部	講師
	井ノ口 宗成	政策科学部政策科学科	教授
	遠藤 直久	理工学部	講師
	岡井 有佳	理工学部環境都市工学科	教授
	門川 大作	衣笠総合研究機構	教授
	川崎 佑磨	理工学部環境都市工学科	准教授
	神田 孝治	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	北西 諒介	文学部人文学科(地域研究学域)	特任助教
	木村 智	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	小林 泰三	理工学部環境都市工学科	教授
	桜井 政成	政策科学部政策科学科	教授
	里深 好文	理工学部環境都市工学科	教授
	仲谷 善雄	情報理工学部情報理工学科	教授
	平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授
	福山 智子	理工学部建築都市デザイン学科	教授

学内の若手研究者		本間 睦朗	理工学部建築都市デザイン学科	教授
		宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	教授
		持田 泰秀	理工学部建築都市デザイン学科	教授
		森田 耕平	文学部人文学科(地域研究学域)	特任助教
		山口 洋典	共通教育推進機構	教授
		山田 悟史	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
		山出 美弥	政策科学部政策科学科	准教授
		山本 理佳	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
		SAUCEDO Daniel	政策科学部政策科学科	准教授
	① 専門研究員 研究員 初任研究員	王 旻	衣笠総合研究機構	専門研究員
		李 敏	衣笠総合研究機構	専門研究員
	② リサーチアシスタント	王 子豪	文学研究科	博士課程後期課程
		CHAWANID Tanavara	政策科学研究科	博士課程後期課程
		松尾 規子	政策科学研究科	博士課程後期課程
	③ 大学院生	印牧 真明	文学研究科	博士課程後期課程
		田畑 勇也	文学研究科	博士課程後期課程
		QIN Xin	理工学研究科	博士課程後期課程
		Hamid Nikzad	理工学研究科	博士課程後期課程
		Gledis GJATA	理工学研究科	博士課程後期課程
		KIM Hojin	理工学研究科	博士課程後期課程
		王 百川	理工学研究科	博士課程後期課程
		福島 研人	理工学研究科	博士課程後期課程
		HAQDAD Khwaja Mir Tamim	理工学研究科	博士課程後期課程
		井上 萌来	理工学研究科	博士課程後期課程
		中村 達也	理工学研究科	博士課程後期課程
		清水 泰有	政策科学研究科	博士課程後期課程
		留野 僚也	政策科学研究科	博士課程後期課程
		MAHADI Md Musfiq Al	政策科学研究科	博士課程後期課程
		北岡 沙映	文学研究科	博士課程前期課程
		阿部 生	文学研究科	博士課程前期課程
		田代 優都	文学研究科	博士課程前期課程
		塚本 剛生	文学研究科	博士課程前期課程
		麦谷 雄飛	文学研究科	博士課程前期課程
		小寺 菜月	文学研究科	博士課程前期課程
		土田 航大	文学研究科	博士課程前期課程
		郭 昂	文学研究科	博士課程前期課程
		阿部 真歩	文学研究科	博士課程前期課程
		広中 翔	理工学研究科	博士課程前期課程
		長居 晃希	理工学研究科	博士課程前期課程
		西田 彩ら	理工学研究科	博士課程前期課程
		明石 夏林	理工学研究科	博士課程前期課程

	足立 奈緒	理工学研究科	博士課程前期課程
	飯古 圭志史	理工学研究科	博士課程前期課程
	池田 拓樹	理工学研究科	博士課程前期課程
	出原 若奈	理工学研究科	博士課程前期課程
	伊藤 由偉	理工学研究科	博士課程前期課程
	石川 勝大	理工学研究科	博士課程前期課程
	岩本 昇真	理工学研究科	博士課程前期課程
	上西 那智	理工学研究科	博士課程前期課程
	植松 蓮	理工学研究科	博士課程前期課程
	馬越 康輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	浦崎 剛	理工学研究科	博士課程前期課程
	江間 太輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	大島 佳奈子	理工学研究科	博士課程前期課程
	小原 愛美	理工学研究科	博士課程前期課程
	大西 亮輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	大松 瞬	理工学研究科	博士課程前期課程
	大本 和尚	理工学研究科	博士課程前期課程
	岡田 雅哉	理工学研究科	博士課程前期課程
	角田 有優	理工学研究科	博士課程前期課程
	鹿島 翔太	理工学研究科	博士課程前期課程
	金盛 悠佑	理工学研究科	博士課程前期課程
	河村 優作	理工学研究科	博士課程前期課程
	栗本 麻鈴	理工学研究科	博士課程前期課程
	慶野 朱香	理工学研究科	博士課程前期課程
	小藤 由瞳	理工学研究科	博士課程前期課程
	小畑 智皓	理工学研究科	博士課程前期課程
	小林 祥太朗	理工学研究科	博士課程前期課程
	古山 大成	理工学研究科	博士課程前期課程
	近藤 一秀	理工学研究科	博士課程前期課程
	鮫島 隆貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	島本 匠	理工学研究科	博士課程前期課程
	清水 優真	理工学研究科	博士課程前期課程
	下村 朋世	理工学研究科	博士課程前期課程
	杉本 伊央理	理工学研究科	博士課程前期課程
	鈴木 雄太	理工学研究科	博士課程前期課程
	竹下 步夢	理工学研究科	博士課程前期課程
	谷尾 優希	理工学研究科	博士課程前期課程
	茶元 俊輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	鄭 斯元	理工学研究科	博士課程前期課程
	濱 大智	理工学研究科	博士課程前期課程
	早川 岬希	理工学研究科	博士課程前期課程
	林 晃祐	理工学研究科	博士課程前期課程

	東村 天	理工学研究科	博士課程前期課程
	平山 達也	理工学研究科	博士課程前期課程
	弘中 希	理工学研究科	博士課程前期課程
	本城 真輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	本田 明星斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	前田 里彩	理工学研究科	博士課程前期課程
	松井 舜	理工学研究科	博士課程前期課程
	松木 咲依	理工学研究科	博士課程前期課程
	宮原 睦生	理工学研究科	博士課程前期課程
	村上 翔一	理工学研究科	博士課程前期課程
	望月 俊男	理工学研究科	博士課程前期課程
	森本 啓太	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 祥太	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 遼	理工学研究科	博士課程前期課程
	楊 詩琦	理工学研究科	博士課程前期課程
	行藤 航太朗	理工学研究科	博士課程前期課程
	横田 航大	理工学研究科	博士課程前期課程
	吉田 蒼	理工学研究科	博士課程前期課程
	米光 陸	理工学研究科	博士課程前期課程
	渡邊 隆之助	理工学研究科	博士課程前期課程
	梁 瑤鈺	理工学研究科	博士課程前期課程
	HAKIMULLAH Arif Iskandar	理工学研究科	博士課程前期課程
	KIM Joonyoung	理工学研究科	博士課程前期課程
	LI Yu	理工学研究科	博士課程前期課程
	TENG Hongfei	理工学研究科	博士課程前期課程
	ZHANG Minghao	理工学研究科	博士課程前期課程
	池田 笙沔	理工学研究科	博士課程前期課程
	池田 怜央	理工学研究科	博士課程前期課程
	井上 円翔	理工学研究科	博士課程前期課程
	宇佐美 要成	理工学研究科	博士課程前期課程
	上本 愛仁	理工学研究科	博士課程前期課程
	牛木 優作	理工学研究科	博士課程前期課程
	榎並 隼	理工学研究科	博士課程前期課程
	江本 舜	理工学研究科	博士課程前期課程
	大西 柊次	理工学研究科	博士課程前期課程
	小野 葵	理工学研究科	博士課程前期課程
	柏原 悠希	理工学研究科	博士課程前期課程
	金丸 昌裕	理工学研究科	博士課程前期課程
	上手 遥野	理工学研究科	博士課程前期課程
	河田 直哉	理工学研究科	博士課程前期課程
	川崎 真喜男	理工学研究科	博士課程前期課程

	川島 美乃里	理工学研究科	博士課程前期課程
	小泉 智弘	理工学研究科	博士課程前期課程
	河内 遼	理工学研究科	博士課程前期課程
	久保田 詩音	理工学研究科	博士課程前期課程
	小橋 彩和	理工学研究科	博士課程前期課程
	小林 承太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
	小林 里樹斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	小森園 旺彦	理工学研究科	博士課程前期課程
	近藤 興風	理工学研究科	博士課程前期課程
	阪本 泰人	理工学研究科	博士課程前期課程
	澤 俊輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	島崎 琉佳	理工学研究科	博士課程前期課程
	清水 崇仁	理工学研究科	博士課程前期課程
	白石 安優夢	理工学研究科	博士課程前期課程
	杉本 皓	理工学研究科	博士課程前期課程
	鈴木 陽平	理工学研究科	博士課程前期課程
	高橋 快斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	高橋 奈々	理工学研究科	博士課程前期課程
	竹中 佑成	理工学研究科	博士課程前期課程
	田中 雅也	理工学研究科	博士課程前期課程
	田辺 竹千代	理工学研究科	博士課程前期課程
	谷脇 弘真	理工学研究科	博士課程前期課程
	塚本 悠己	理工学研究科	博士課程前期課程
	中谷 紀克	理工学研究科	博士課程前期課程
	中村 一貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	西田 圭太	理工学研究科	博士課程前期課程
	二杉 莉央	理工学研究科	博士課程前期課程
	朴 祥完	理工学研究科	博士課程前期課程
	橋本 匠史	理工学研究科	博士課程前期課程
	林 優斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	日浦 啓太	理工学研究科	博士課程前期課程
	東山 いちご	理工学研究科	博士課程前期課程
	樋口 玲人	理工学研究科	博士課程前期課程
	檜皮 明音	理工学研究科	博士課程前期課程
	深尾 柊	理工学研究科	博士課程前期課程
	藤井 さくら	理工学研究科	博士課程前期課程
	藤井 柊樹	理工学研究科	博士課程前期課程
	藤野 絢子	理工学研究科	博士課程前期課程
	藤本 理玖	理工学研究科	博士課程前期課程
	前川 圭輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	松村 采音	理工学研究科	博士課程前期課程
	松本 忍	理工学研究科	博士課程前期課程

		三隅 健太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
		道澤 真依	理工学研究科	博士課程前期課程
		武藤 海叶	理工学研究科	博士課程前期課程
		村上 桜子	理工学研究科	博士課程前期課程
		村田 匡優	理工学研究科	博士課程前期課程
		森田 和磨	理工学研究科	博士課程前期課程
		山口 真大	理工学研究科	博士課程前期課程
		山本 愛子	理工学研究科	博士課程前期課程
		山本 萌音	理工学研究科	博士課程前期課程
		八若 凜太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
		DIN Hassam Ud	理工学研究科	博士課程前期課程
		JIA Qimiao	理工学研究科	博士課程前期課程
		PARK Chanju	理工学研究科	博士課程前期課程
		YIP Hoifung	理工学研究科	博士課程前期課程
		DUAN Ke	政策科学研究科	博士課程前期課程
		ESTRADA HERNANDEZ Brandon Eduardo	政策科学研究科	博士課程前期課程
		PRASONGCHATCHAI Pornchai	政策科学研究科	博士課程前期課程
		ROY Ksheeten	政策科学研究科	博士課程前期課程
		SANDRINA Fera	政策科学研究科	博士課程前期課程
		SEPADAWATI Hidayah	政策科学研究科	博士課程前期課程
		鷗鷯 遼	政策科学研究科	博士課程前期課程
		JIANG Supeng	政策科学研究科	博士課程前期課程
		HAN Xiaoyang	政策科学研究科	博士課程前期課程
		HENG Qidong	政策科学研究科	博士課程前期課程
		KIM Dasol	政策科学研究科	博士課程前期課程
		MIAO Xinxin	政策科学研究科	博士課程前期課程
		坂東 海律	政策科学研究科	博士課程前期課程
		NI Xuemeng	政策科学研究科	博士課程前期課程
		④ 日本学術振興会特別 研究員 (PD・RPD)		
	その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	林 祐妃	衣笠総合研究機構	補助研究員
		白石 陽子	衣笠総合研究機構	補助研究員
客員協力研究員	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー	
	松浦 晃一郎	株式会社パソナグループ	顧問	
	狭間 恵三子	大阪商業大学	教授	
	林 春男	京都大学	名誉教授	
	青木 和人	福井県立大学地域経済研究所	教授	
	秋尾 沙戸子		ジャーナリスト、作家	

	浅妻 裕	北海学園大学 経済学部	教授
	石田 優子	近畿大学工業高等専門学校 総合システム工学科	教授
	石原 凌河	龍谷大学 政策学部	准教授
	石橋 健一	愛知学院大学 総合政策学部	教授
	和泉 潤	衣笠総合研究機構	客員研究員
	伊藤 真恵	Mita Corporation A.S.	取締役
	岩本 葉子	京都芸術大学 通信教育部	非常勤講師
	植村 善博	佛教大学	名誉教授
	宇佐美 智之	京都芸術大学 芸術学部歴史遺産学科	専任講師
	大岡 優	都城工業高等専門学校 建築学科	准教授
	大槻 知史	高知大学地域協働学部	教授
	大橋 弘明	立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部	教授
	大邑 潤三	東京大学地震研究所	助教
	岡田 篤正	京都大学	名誉教授
	小野 聡	千葉商科大学 総合政策学部	准教授
	梶 秀樹	一般財団法人地域防災支援協会 理事 筑波大学	名誉教授
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	神田 隆男	衣笠総合研究機構	客員研究員
	神戸 啓	うさぎのアトリエぴょんぴょこぴょん京・先斗町/先斗町まちづくり協議会	代表/副会長兼事務局長
	北本 英里子	神奈川工科大学 情報学部	准教授
	桐村 喬	京都産業大学 文化学部	准教授
	崔 明姫	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系	助教
	酒井 宏平	城西大学 現代政策学部	助教
	佐藤 英佑	株式会社佐藤建築設計	代表取締役
	佐藤 貴史	北海学園大学 人文学部	教授
	島本 多敬	滋賀県立琵琶湖博物館	学芸員
	城月 雅大	名古屋外国語大学 現代国際学部 国際教養学科	准教授
	壽崎 かすみ	龍谷大学 国際学部	准教授
	鈴木 祥之	京都大学	名誉教授
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅袋屋	研究員
	高橋 彰	大阪大学サイバーメディアセンター	特任助教
	高橋 暁	ユネスコ・アラブ諸国科学技術地域事業所	文化担当官

	高松 正彦	株式会社緑の風景計画	
	武田 史朗	千葉大学大学院園芸学研究院	教授
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室	
	谷端 郷	北海学園大学 人文学部	講師
	手塚 薫	北海学園大学 人文学部	教授
	戸田 堅一郎	株式会社ジオ・フォレスト	代表取締役
	中谷 友樹	東北大学大学院 環境科学研究科	教授
	中野 元太	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター	助教
	夏目 宗幸	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域	准教授
	林 倫子	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科	准教授
	樋本 圭佑	国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部都市開発研究室	室長
	福山 大典	株式会社アイエス工業所	取締役
	藤井 健史	金沢工業大学 建築学部建築学科	講師
	古川 愛子	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻	准教授
	星野 安治	国立文化財機構奈良文化財研究所	年代学研究室長
	前田 一馬	京都橘大学 経済学部	専任講師
	益田 兼房	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松田 彰	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松田 法子	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科	准教授
	丸岡 稔典	四天王寺大学 人文社会学部	准教授
	宮崎 彩	東京大学教養学部教養教育高度化機構	特任准教授
	宮崎 洋司	株式会社プラス社会計画センター	所長
	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所	教授
	森 清顕	清水寺	執事補
	森下 雄治	森下漆器株式会社	代表取締役
	森田 哲夫	宮崎大学 FSRC	プロジェクト研究員
	矢尾田 清幸	沖縄県土地改良事業団体連合会	宮古支所長
	安田 勝	京都府土地開発公社	
	安本 晋也	中部大学 人文学部 歴史地理学科	
	山崎 文雄	千葉大学大学院 工学研究科 / 国立研究開発法人 防災科学技術研究所	名誉教授/主幹研究員
	山本 由美子	コルゲート大学 教養学部	講師

	米島 万有子	熊本大学大学院 人文社会科学 研究部	准教授
	冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫	理事長
	Telat AYDIN	Mita Corporation Bilişim Teknolojileri Dan. ve Dış Tic. A.S.	取締役
	Chaweewan DENPAIBOON	チュラロンコン大学 建築学部	准教授
	Benjamin David HENNIG	アイスランド大学 地理学	教授
	Rohit JIGYASU	文化財保存修復研究国際センタ ー (ICCROM)	プロジェクトマネー ジャー
	SHAKYA Lata	衣笠総合研究機構	客員研究員
	Paola RIZZI	サッサリ大学 都市建築デザイン 学部	准教授
その他の学外者			
研究所構成員 計 307 名 (うち学内の若手研究者 計 185 名)			

Ⅲ. 研究業績（公開項目）

※ページ数の制限は無し

※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください(2026 年 3 月 31 日時点)。

また、書式 B の研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発行年月	発行所、発表雑誌（及 び巻・号数）等の名称	その他編者・著者 名	担当頁数
1	青柳 憲 昌	『和様と唐様の日本建 築史学史』	単著	2025 年 7 月	勉誠社	野村俊一編著、他	pp. 490-512
2	阿部 俊 彦	新建築 2025 年 11 月号 「立命館大学大阪いば らきキャンパス H 棟」	共著	2025 年 11 月	新建築 2025 年 11 月 号	立命館キャンパ ス計画室（設計監 修）竹中工務店 （設計施工）	—
3	井 ノ 口 宗成	地震被害調査シリーズ No.5 2024 年能登半島 地震被害調査報告書	共著	2025 年 12 月	土木学会	土木学会 地震工 学委員会 地震被 害調査小委員会	pp. 347-361
4	神田 孝 治	大阪・関西万博にみら れる未来像	単著	2025 年 12 月	万 博 学 ／ Expo-logy 第 4 号	万博学研究会編	pp. 44-49
5	木村 智	建築造形のスタディ かたちの構成・操作・展 開	共著	2025 年 9 月	学芸出版社	木村智・寶珍宏 元・三木勲・平尾 和洋（編著）	22, 30, 32, 39, 44, 46, 70, 82, 108, 116
6	豊田 祐 輔	The evolution of disaster education in Japan (Cavaliere P., Otani J. [Eds.] “The Handbook of Disaster Studies in Japan”)	単著	2025 年 9 月	MM Limited, Tokyo	Toyoda Yusuke	pp. 68-93
7	平尾 和 洋	建築造形のスタディ かたちの構成・操作・展 開	編 者 （編 著 者）	2025 年 9 月	学芸出版社	平尾和洋編著、 木村智、 寶珍宏 元、 三木勲著	pp. 1-127
8	平尾 和 洋	2024 年度南丹市民家調 査報告書 園部・八木編 その 2-妻入棟割（棋丹 型）民家の分布・集落と 水害常襲集落の防災の 知恵-	編 者 （編 著 者）	2025 年 5 月	歴史都市防災研究所	平尾和洋/立命館 大学建築意匠研 究室	pp. 1-138

9	福山 智子	建築材料の基礎知識	共著	2025年12月	理工図書	谷川恭雄・伊藤洋介・黒川善幸・坂本英輔・鈴木清孝・瀬古繁喜・寺西浩司・野中英・濱崎仁・平岩陸・福山智子・藤森繁・丸山一平・山本真正	pp. 59-84	
---	-------	-----------	----	----------	------	---	-----------	--

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳 憲昌	伊東忠太「建築進化論」批判―アナクロニズムによる技術革新と建築進化―	単著	2025 年 9 月	構法史のアナクロニズム―消えかかった構法の可能性―（日本建築学会大会パネルディスカッション資料）	日本建築学会建築計画委員会	28-33	無
2	青柳 憲昌	法隆寺防火設備水道工事（1928）の実施経緯と技術史的特徴	単著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	青柳憲昌, 梁瑤鈺, 李一晗	99-106	有
3	青柳 憲昌	近世城郭天守における各階柱配置と外観形式の関係性	単著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	前川圭輝, 深尾柁, 青柳憲昌	119-120	無
4	青柳 憲昌	大岡實設計の茅野市聖光寺本堂の建築的特徴―大岡の仏堂作品群との意匠上の比較より	単著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	塚本悠己, 青柳憲昌	305-306	無
5	青柳 憲昌	前川國男設計の立命館日満高等工科学学校の建築的特徴と全体計画	単著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	鄭斯元, 青柳憲昌	225-226	無
6	青柳 憲昌	戦前から戦後にかけての『折衷様』概念の変容	単著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	武藤海叶, 青柳憲昌	31-32	無
7	阿部 俊彦	まちづくりワークショップ支援する協働オンラインプラットフォームの開発	単著	2025 年 6 月	日本建築学会 技術報告集 31(78)	阿部俊彦, 益子智之, 寶珍宏元	1023-1028	有
8	阿部 俊彦	都市部寺院における月次教化活動及び行事の効果～コミュニティ意識尺度を用いて～	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	篠岡果、金度源、阿部俊彦、大窪健之	57-64	有
9	阿部 俊彦	防災建築街区の持続的活用に資する継承形態に関する研究―滋賀県彦根市彦根銀座商店街を対象として―	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	阿部俊彦, 井上拓磨, 益子智之, 寶珍宏元, 金度源	41-48	有
10	阿部 俊彦	新設大学キャンパスにおける地域と連携した共創拠点の空間と活動の展開	共著	2025 年 10 月	日本建築学会 技術報告集 31(79)	宇田川翔平, 安森亮雄, 池内祥見, 阿部俊彦	1550-1555	有
11	阿部 俊彦	景観要素と走行速度に着目した自転車走行空間に関する研究―琵琶湖東岸区域草津市・守山市)の湖岸道路を対象として―	単著	2025 年 10 月	土木学会論文集 81(10)	阿部 俊彦, 益子 智之, 牧田 竜明, 寶珍宏元, 金 度源	1-9	有
12	伊藤 真一	室内侵食実験による法面の植被率と排水溝の土砂高さとの関係	共著	2025 年 9 月	第 16 回環境地盤工学シンポジウム発表論文集	昌本拓也, 酒匂一成, 伊藤真一, 村上哲	542-549	無

13	伊藤 真一	桜島大正噴火級の噴火後の降下火砕物堆積量の分布傾向に関する一考察	共著	2025 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2025 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	五反田尚大, 酒匂一成, 田上聖人, 伊藤真一	83-88	無
14	伊藤 真一	Physics-Informed Neural Network を用いた地盤パラメータの逆解析	共著	2026 年 1 月	地盤工学会誌, Vol.74, No.1	伊藤真一, 福永竜世, 酒匂一成	10-13	無
15	井ノ口 宗成	Studies on Disaster Prevention Literacy: A Review	共著	2025 年 4 月	Journal of Disaster Research Vol.20(No.2)	Makoto Takahashi, Munenari Inoguchi, Reo Kimura	pp.150-159	有
16	井ノ口 宗成	A Summary of Issues in the Community Reconstruction Process after the 2024 Noto Peninsula Earthquake -A Case Study of Himi City in Toyama Prefecture-	共著	2025 年 5 月	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction 69(72)	INOUCHI Munenari, TAMURA Keiko, KOMATSUBARA Yasuhiro	pp.69-72	有
17	井ノ口 宗成	Content Analysis Based on the Results of Exploratory Analysis of in Damage Assessment Work to the Person in Charge of Executing the Work-A Case Study of the 2024 Noto Peninsula Earthquake in Himi City, Toyama Prefecture-	共著	2025 年 5 月	Proceedings of the 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction	KOMATSUBARA Yasuhiro, INOUCHI Munenari	pp.113-116	有
18	井ノ口 宗成	被災地における社会課題解決を目指した科学技術の活用に関する探索的研究	共著	2025 年 7 月	研究イノベーション学会論文誌「研究 技術 計画」, 40 巻, 2 号	小松原 康弘, 井ノ口 宗成	pp.191-207	有
19	井ノ口 宗成	The Realities and Challenges of the Evacuation Topography Time Map	共著	2026 年 2 月	Journal of Disaster Research Vol.21(No.1)	KOMATSUBARA Yasuhiro, INOUCHI Munenari	pp.223-235	有
20	井ノ口 宗成	Content Analysis Based on the Results of Exploratory Analysis of in Damage Assessment Lessons Learned and Knowledge Extraction from Disaster Response: A Case Study of Human Resource Management in Housing Damage Assessment Operations in Himi	共著	2026 年 2 月	Journal of Disaster Research Vol.21(No.1)	KOMATSUBARA Yasuhiro, INOUCHI Munenari	pp.6-58	有

		City during the 2024 Noto Peninsula Earthquake						
21	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討-木造一般壁面仕様による浸水実験 その1-	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	遠藤直久・大島康輔・向井ひかり・藤本将光・里深好文	pp199-202	無
22	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討-土壁を対象とした浸水実験 その2-	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	伊藤東輝・大島康輔・藤本将光・里深好文・遠藤直久	pp203-206	無
23	遠藤 直久	木材の経年変化に関する考察 -重要伝統的建造物群の木製ファサードの外観調査を通して-	単著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	岡本怜・野村彦・遠藤直久	pp153-156	無
24	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 -土壁を対象とした浸水実験 その1-	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	原口晶・大島康輔・藤本将光・里深好文・遠藤直久	pp221-224	無
25	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 -木造一般壁面仕様による浸水実験 その2-	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	原口晶・大島康輔・藤本将光・里深好文・遠藤直久	pp225-228	無
26	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 木造一般壁面仕様による浸水実験	単著	2025 年 9 月	日本建築学会、建築学会全国大会梗概集	遠藤直久	pp123-124	無
27	遠藤 直久	外観調査による建築外装木材の経年変化についての考察	単著	2025 年 9 月	日本建築学会、建築学会全国大会梗概集	岡本怜・遠藤直久	pp43-44	無
28	大窪 健之	Possibilities of supportance for tourists, utilizing the disaster prevention resources in a historic hot spring resort around Dogo Onsen in Japan	共著	2025 年 6 月	Le Vie dei. Mercanti 13	Takeyuki Okubo, Fumitaka Shirane, Dowon KIM	Abitare la Terra Quaderni 13-14, pp.40-42	有
29	大窪 健之	重要伝統的建造物群保存地区における自主防災組織の活動状況に関する研究	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	金度源、石原一樹、大窪健之	49-56	有
30	大窪 健之	オーバーツーリズム観光地での住民の受け入れ意識に関する研究 -京都市嵯峨嵐山の観光対策に注目して-	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	坂本佑太、金度源、大窪健之	65-72	有
31	大窪 健之	八幡伝統的建造物群保存地区における延焼リスク評価と古式水道を再活用した際の消防水利評価	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	小林里樹斗、大窪健之、金度源	107-114	有
32	大窪 健之	歴史的仏教僧院における避難所運営の可能性 ～ネパールの歴史都市パタンにお	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	サキヤラタ、白野裕之、金度源、大窪健之、田川龍	115-122	有

		ける地域空間の防災拠点化に関する研究 その2～						
33	大窪 健之	Global challenges and insights in disaster risk management at world cultural heritage sites	共著	2025 年 12 月	Progress in Disaster Science Volume 28(100477)	Min Li, Takeyuki Okubo, Dowon Kim, Shakya Lata and Aya Miyazaki	Online	有
34	大場 修	京都府南丹市園部・八木町における集落の水害対策に関する研究	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	大場 修・潮田龍諒・平尾和洋	pp.207-214	無
35	岡井 有佳	塩田津重要伝統的建造物群保存地区における住宅の水害対策の実態に関する研究	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	池田怜央・柏原悠希・藤井証樹・吉田隼人・岡井有佳・馬場美智子	73-80	有
36	岡井 有佳	市民参加が公共空間などの愛着に与える影響に関する一考察	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	井口航大・岡井有佳・酒本恭聖	129-132	無
37	岡井 有佳	京都府選定文化的景観の保全に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	池田笙苒・岡井有佳・麻生美希	41-44	無
38	岡井 有佳	既成市街地における敷地整序型土地区画整理事業の運用に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	池田怜央・岡井有佳	13-16	無
39	岡井 有佳	都市利便増進協定を用いた公共空間の管理・運営に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	島崎琉佳・岡井有佳	125-128	無
40	岡井 有佳	認知症高齢者向け施設への空き家活用の可能性	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	橋本匠史・岡井有佳	69-72	無
41	岡井 有佳	民間主体による河川空間の商業的利活用に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	樋口玲人・岡井有佳	53-56	無
42	岡井 有佳	指定管理者制度における複数公園の一括管理に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	山本萌音・岡井有佳	45-48	無
43	岡井 有佳	市民緑地制度を活用した民有地の緑化に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	水野真希・岡井有佳	49-52	無
44	岡井 有佳	歴史的風致形成建造物制度を用いた住宅の保全・活用実態に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	大田勇樹・岡井有佳	37-40	無
45	岡井 有佳	家守組織によるリノベーションまちづくり事業に関する研究	共著	2025 年 7 月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 23(0)	分部颯太・岡井有佳	73-76	無
46	岡井 有佳	Regional Cooperation for Compact City Formation: Case Study of Asahikawa City, Takasu Town and Higashikagura Town	共著	2025 年 8 月	International Conference of Asia-Pacific Planning Societies, 2025 ICAPPS Proceedings,	Hayato Yoshida, Yuka Okai	1262-1271	有
47	岡井 有佳	立地適正化計画における都市機能誘導区域への誘導施設の立地に関する研究	共著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	西川杏紗菜・岡井有佳・酒本恭聖	679-682	無
48	岡井 有佳	都市計画法第 34 条第 11 号条例の廃止と立地適正化計画と	共著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	藤井証樹・岡井有佳・吉田隼斗	699-702	無

		の関連性に関する研究						
49	岡井 有佳	立地適正化計画における土地利用規制緩和による誘導施策に関する研究～札幌市と名古屋市を対象として～	共著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	柏原悠希・岡井有佳・吉田隼斗	675-678	無
50	岡井 有佳	歴史的風致形成建造物制度を用いた非住宅建造物の保存・活用実態に関する研究	共著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	大田勇樹・岡井有佳	3319-320	無
51	岡井 有佳	建築物の用途と規模のパッケージ化に関する用途地域の課題	共著	2025 年 9 月	日本建築学会建築法制委員会成熟と不確実性時代のゾーニング制度を考える	吉田隼斗・岡井有佳	16-19	無
52	岡井 有佳	同一都市計画区域における立地適正化計画の都市機能の広域連携に関する研究	共著	2025 年 9 月	日本都市計画学会、都市計画報告集 24 (2)	吉田隼斗・岡井有佳	287-293	無
53	岡井 有佳	立地適正化計画における誘導施設の立地に関する研究	共著	2025 年 9 月	日本都市計画学会、都市計画報告集 24 (2)	西川杏紗菜・岡井有佳・酒本恭聖	232-238	無
54	岡井 有佳	立地適正化計画における独自の居住区域の運用実態とその効果に関する研究—札幌市、弘前市、金沢市、岐阜市、東近江市、枚方市を対象として—	共著	2025 年 10 月	公益社団法人日本都市計画学会、日本都市計画学会都市計画論文集 No60-2	吉田隼斗・岡井有佳・酒本恭聖	179-188	有
55	岡井 有佳	フランスの都市計画における合意形成システム～コンサルテーションに着目して	単著	2025 年 10 月	建築ジャーナル No.1373	岡井有佳	12-13	無
56	岡井 有佳	公共施設等総合管理計画の進捗と財政措置の関係～全国市区町村アンケート調査による実態解明～	共著	2025 年 11 月	日本計画行政学会、計画行政 No48-4	上森貞行・瀬田史彦・藤木秀明・岡井有佳・近藤早映・吉村輝彦	51-58	有
57	鐘ヶ江 秀彦	スマートシティ官民連携プラットフォームにおけるレジリエント都市づくりに関する全国比較評価研究	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	大橋弘明・林将央・鐘ヶ江秀彦	pp131-pp138	有
58	鐘ヶ江 秀彦	Introducing a Policy Alignment Matrix and Control Strategies for Sustainable Urban Cooling in Historic Cities: A Study of Kyoto Policies Using a Whole-System Approach	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	Estrada Hernández Brandon Eduardo and Hidehiko Kanegae	pp123-pp130	有
59	川崎 佑磨	橋梁の 3 次元モデルに IoT センシング情報を統合したインフラマネジメント向けのプラットフォームに関する検討	共著	2025 年 5 月	AI・データサイエンス論文集	井上和真, 後藤源太, 横山和佳奈, 川崎佑磨, 小西優真, 山元沙貴		有
60	河角 直美	歴史都市京都のデジタルアーカイブ—地図と写真のデータベース構築を例とし	共著	2025 年 11 月	情報の科学と技術 75(11)	河角直美・矢野桂司・佐藤弘隆・高橋彰・山本峻平	pp.560-565	無

		てー						
61	北西 諒介	地名から見る千里ニュータウンの〈まとまり〉と〈ひろがり〉	単著	2025 年 5 月	多摩ニュータウン研究 27 号	北西 諒介	4-8	無
62	金 度源	Possibilities of supportance for tourists, utilizing the disaster prevention resources in a historic hot spring resort around Dogo Onsen in Japan	共著	2025 年 6 月	Le Vie dei. Mercanti 13	Takeyuki Okubo, Fumitaka Shirane, Dowon KIM		有
63	金 度源	防災建築街区の持続的活用に資する継承形態に関する研究ー滋賀県彦根市彦根銀座商店街を対象としてー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	阿部俊彦, 井上拓磨, 益子智之, 寶珍宏元, 金度源	41-48	有
64	金 度源	重要伝統的建造物群保存地区における自主防災組織の活動状況に関する研究	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	金度源, 石原一樹, 大窪健之	49-56	有
65	金 度源	都市部寺院における月次教化活動及び行事の効果ーコミュニティ意識尺度を用いてー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	篠岡果, 金度源, 阿部俊彦, 大窪健之	57-64	有
66	金 度源	オーバーツーリズム観光地での住民の受け入れ意識に関する研究ー京都市嵯峨嵐山の観光対策に注目してー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	坂本佑太, 金度源, 大窪健之	65-72	有
67	金 度源	八幡伝統的建造物群保存地区における延焼リスク評価と古式水道を再活用した際の消防水利評価	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	小林里樹斗, 大窪健之, 金度源	107-114	有
68	金 度源	歴史的仏教僧院における避難所運営の可能性ーネパールの歴史都市バタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究その2ー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	サキヤラタ, 白野裕之, 金度源, 大窪健之, 田川龍	115-122	有
69	木村 智	富家宏泰の京都市市における建築作品の特徴と用途の傾向について	共著	2025 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol.19	木村智, 清水優真	157-160	無
70	木村 智	ピエル・ルイジ・ネルヴィのトリノ労働会館に向けたフェロセメントの検討	単著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	木村智	209-210	無
71	木村 智	吉田五十八の住宅作品における庭園の変遷と特徴ー大和絵の庭について	共著	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	澤俊輔, 木村智	1077-1018	無
72	桜井 政成	サービスラーニング型授業での再帰性実践の可能性	共著	2025 年 9 月	福祉社会学研究 22	桜井政成, 加野佑弥	167-187	有
73	桜井 政成	【研究ノート】集合的記憶から場所の感覚ー軋の浦のまちづ	単著	2025 年 9 月	ノンプロフィット・レビュー 25(1)	藤本直樹・桜井政成・森道哉	63-72	有

		くりの新たな展開におけるアクター間の認識分析ー						
74	里深 好文	合流角度が異なる水路実験に基づく山地河川の支川合流に関する考察	共著	2025 年 5 月	砂防学会誌 78(1)	岡野和行, 木下篤彦, 竹下航, 岸本優輝, 井之本信, 上杉温子, 吉安征香, 里深好文	26-31	有
75	里深 好文	生産土砂の粒度が粗い流域における大規模出水の流砂の相変化を考慮した河床変動計算モデルの適用性	共著	2025 年 11 月	砂防学会誌 78(4)	丹羽論, 内田太郎, 里深好文, 権田豊, 西口幸希, 久保毅, 赤澤史顕, 野坂隆幸	23-34	有
76	寺床 幸雄	デジタル化が地域調査の方法にもたらす変化ー農村地理学を中心としてー	単著	2025 年 11 月	立命館地理学会、立命館地理学 37	寺床幸雄	25-34	無
77	豊田 祐輔	Factors associated with household flood preparedness in Songkhla Old Town Thailand (査読有り)	共著	2025 年 4 月	ElsevierProgress in Disaster Science (Elsevier) 26(100441)	Thapa Sriya, Toyoda Yusuke, Laosee, Orapin, Janmaimool Piyapong, Buadit Tarinee, Noisangiam Nattaneeporn, Rattanapan Cheerawit		有
78	平尾 和洋	京都市の公共路地における防災に対する事業者意識の把握とメニューの提案 (報告)	単著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	平尾和洋, 前田彩花	183-190	無
79	平尾 和洋	京都府南丹市園部・八木町における集落の被害対策に関する研究 (報告)	単著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	大場修, 潮田龍諒, 平尾和洋	207-214	無
80	深川 良一	寺山炭窯跡の石積再崩壊とその後の取組	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	藤井大祐, 北村良介, 酒匂一成, 深川良一	215-220	無
81	福水 洋平	Puddle depth estimation method for autonomous driving system on unpaved road	共著	2025 年 4 月	Proceedings SPIE Defence + Commercial Sensing 13469	Yukinori Okamura, Kazuya Monden, Shohei Yamashita, Iori Hashimoto, Yuki Uetsuki, Kazuhiro Furuhashi, and Yohei Fukumizu	46	有
82	福水 洋平	A Multi-Task Deep Learning Framework for Road Quality Analysis with Scene Mapping via Sim-to-Real Adaptation	共著	2025 年 8 月	Journal of Applied Science 15(16)	Rahul Vijay Soans, Ryuichi Masuda, and Yohei Fukumizu	8849	有
83	福山 智子	高強度コンクリートの練混ぜ過程における条件およびアルミネート相の増量がスランプフローに与える影響	共著	2025 年 4 月	明石 : NikkoNikko technical report 6	小林 皆也, 川崎 佑磨, 坂本 恭裕, 福山 智子	35-40	
84	福山 智子	分極曲線と電気化学ノイズによるモルタル中の鋼材の腐食形態評価	共著	2025 年 6 月	一般社団法人 日本建築学会 日本建築学会技術報告集 31(78)	KIM Hojin, 福山 智子	637-641	

85	福山 智子	コンクリート中の塩化物量が電磁波レーダの波形に及ぼす影響	共著	2025 年 7 月	コンクリート工学年次論文集 (CD-ROM) 47 2025 年	福山智子, 金田尚志, 金光俊徳, 佐藤文彦		
86	福山 智子	塩化物量を変化させた大型試験体に対する各種非破壊試験法の適用性検討	共著	2025 年 7 月	コンクリート工学年次論文集 (CD-ROM) 47 2025 年	金光俊徳, 山下恭敬, 渡邊晋也, 福山智子		
87	福山 智子	軍艦島 65 号棟南棟の定点観察画像に基づく劣化進行と経年変化	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	川崎 佑磨, 福山 智子, 田中 章夫	147-152	有
88	福山 智子	軍艦島日給社宅 20 号棟の経年変化	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	福山 智子, 川崎 佑磨, 田中 章夫	139-146	有
89	福山 智子	セメント系材料のインピーダンス周波数応答特性と電気インピーダンストモグラフィの関係	共著	2026 年 3 月	セメント・コンクリート論文集	横田幸佑, 福山智子, 生野孝	p. 217-225	
90	福山 智子	塩化物イオンを含有するモルタル内部に埋設された特殊鋼材の腐食挙動評価	共著	2026 年 3 月	セメント・コンクリート論文集	KIM Hoin, 福山 智子	pp.278-286	
91	藤本 将光	豪雨時における土砂災害の危険性評価ー清水寺における現地モニタリングシステムと警戒体制ー	単独	2025 年	消防防災の科学, No.159	藤本将光	18-22	
92	藤本 将光	文化都市の保全に向けた中小河川の洪水氾濫リスクに関する一考察	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	原田紹臣, 藤本将光, 里深好文	191-188	
93	藤本 将光	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 ー木造一般壁面使用による浸水実験 その1ー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	遠藤直久, 大島康輔, 向井ひかり, 藤本将光, 里深好文	199-202	無
94	藤本 将光	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 ー木造一般壁面使用による浸水実験 その2ー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	後藤瑞希, 大島康輔, 藤本将光, 里深好文, 遠藤直久	203-206	無
95	藤本 将光	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 ー土壁を対象とした浸水実験 その1ー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	原口晶, 大島康輔, 藤本将光, 里深好文, 遠藤直久	221-224	無
96	藤本 将光	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 ー土壁を対象とした浸水実験, その2ー	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	伊藤東輝, 大島康輔, 藤本将光, 里深好文, 遠藤直久	225-228	無
97	藤本 将光	ある流域における斜面災害リスク評価のためのモニタリング事例	共著	2025 年	Kansai-Geo Symposium 2025 論文集	笠原拓造, 藤本将光, 鏡原聖史, 大西剛史, 金村和生, 鳥居宣之	6-7	
98	藤本 将光	設置条件の違いが網状鉄筋挿入工の水平耐荷性能に与える影響に関する一考察	共著	2025 年	Kansai-Geo Symposium 2025 論文集	原田紹臣, 佐藤登, 小西成治, 藤本将光	P-3	
99	藤本 将光	Impact of Tree Canopy Elevation on Rainfall Attenuation and	共著	2025 年	Journal of the Civil Engineering Forum, Vol.11, No.3	Khwaja MirTamimHaqdad, Yoshifumi Satofuka,	267-274	

		Soil Erosion Dynamics for Enhanced Erosion Control				Masamitsu Fujimoto and Masahiro Murata		
100	藤本 将光	Supporting Flood Risk Governance in Pidie Regency, Aceh, Using Open Spatial Data and iRIC Simulation	共著	2025 年	GeoPlanning Journal of Geomatics and Planning	Naurah Nazifa, Masamitsu Fujimoto, Yoshifumi Satofuka	in press	
101	向井 純子	ブータン国の文化遺産建造物と災害リスク管理の取組みと課題 (報告)	単独	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	向井純子	257-264	無
102	村中 亮夫	A survey dataset on residents' attitudes and behaviors in major cities in Japan: Geo-social survey for Urban Lifestyle Preferences (GULP)	共著	2025 年 8 月	Elsevier BV、Data in Brief 61	Tomoya Hanibuchi, Akio Muranaka, Naoto Yabe, Masakazu Yamauchi, Tomoki Nakaya, Masaya Uesugi, Kayo Nozaki, Shigeki Matsuda, Ryo Tanimoto, Ryoko Yamamoto, Mohammad Javad Koohsari	111859-111859	
103	矢野 桂司	日本文化資源デジタル・アーカイブのDXーバーチャル京都による空間人文学の展開	単著	2025 年 5 月	The Korean Journal of Japanology (2025.05) Vol.143	矢野桂司	114	有
104	矢野 桂司	歴史都市京都のデジタルアーカイブー地図と写真のデータベース構築を例としてー	共著	2025 年 11 月	情報の科学と技術 75(11)	河角直美, 矢野桂司, 佐藤弘隆, 高橋彰, 山本峻平	560-565	無
105	矢野 桂司	「バーチャル京都」による歴史都市の時間回復原と空間人文学の展開	単著	2025 年 11 月	日本語教育, 第 114 輯	矢野桂司	114	有
106	山口 洋典	PBL の風と土 : (33) 学生にく機会があれば...>と言われたら	単著	2025 年 6 月	対人援助学会対人援助学マガジン 16(1)	山口洋典	162-167	無
107	山口 洋典	PBL の風と土 : (34) 先生もく勉強するんだ...>と言われたら	単著	2025 年 9 月	対人援助学会対人援助学マガジン 16(2)	山口洋典	173-178	無
108	山口 洋典	PBL の風と土 : (35) 隣でくこれ何ですかね...>と言ったら	単著	2025 年 12 月	対人援助学会対人援助学マガジン 16(3)	山口洋典	168-173	無
109	山田 悟史	Reproducibility and Validation of a Computational Framework for Architectural Semantics: A Methodological Study with Japanese Architectural Concepts	共著	2025 年 11 月	Buildings 2025, 15(22), 4107;2025.11(Impact Factor: 3.2 (2024)) 15(22)	Gledis Gjata ,Satoshi Yamada		有
110	山出 美弥	別荘地の存在が市町村へ与える影響に関する研究	共著	2026 年 2 月	日本建築学会計画系論文集, 第 91 巻 第 840 号	臼井直之, 山出美弥, 恒川和久		有

111	吉富 信太	不整形な平面形状・立面形状を持つ建物の地震被害	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	吉富信太, 西川英佑, 田淵敦士	pp.81-86	有
112	吉富 信太	土壁の小舞仕様の違いによる性能評価	共著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	東山いちご, 吉富信太	pp.29-34	有
113	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Death and Social Identity: An Exploratory Study of Tombstones among Japanese Immigrants and their Descendants in Lima, Peru(査読無し)	単著	2026 年 3 月	環太平洋文明研究センター、環太平洋文明研究 10 号	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante		無
114	王 旻	四川大震災後中国の文化財・文化遺産防災体制の展開	単著	2025 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.19	王 旻	237-240	無
115	李 敏	Global challenges and insights in disaster risk management at world cultural heritage sites	共著	2025 年 12 月	ElsevierProgress in Disaster Science Volume 28	Min Li, Takeyuki Okubo, Dowon Kim, Shakya Lata, Aya Miyazaki	1-28	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳 憲昌	『構法史のアナクロニズム—消えかかった構法の可能性—』日本建築学会建築計画委員会、日本建築学会大会パネルディスカッション、2025 年 9 月 9 日、パネリストとして登壇	2025 年 9 月	日本建築学会大会パネルディスカッション	青柳憲昌他
2	青柳 憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブ WG 2024 年度 活動報告」2025 年 6 月 1 日、第 10 回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、於・法隆寺	2025 年 6 月	第 10 回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合	青柳憲昌
3	青柳 憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブ WG 2024 年度 活動報告」2025 年 6 月 21 日、第 11 回法隆寺金堂壁画保存活用委員会、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、於・法隆寺	2025 年 6 月	第 11 回法隆寺金堂壁画保存活用委員会	青柳憲昌
4	阿部 俊彦	防潮堤計画の合意形成プロセスの特徴と組織体制の把握 -気仙沼市内における宮城県管理の防潮堤計画に関する研究 その 1-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集	阿部俊彦、鈴木雄太
5	阿部 俊彦	防潮堤計画の合意形成プロセスにおける局面の抽出と比較 -気仙沼市内における宮城県管理の防潮堤計画に関する研究 その 2-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集	鈴木雄太、阿部俊彦
6	阿部 俊彦	かほくがた地縁復興計画-石川県かほく市大崎地区の潟に着目して-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集 (建築デザイン発表)	島本匠、出原若奈、鈴木雄太、望月俊男、阿部俊彦

7	阿部 俊彦	全国の公園内美術館の類型化と公園内施設間の相互利用に関する研究 -滋賀県立美術館を対象として その1-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集	角田有優、阿部俊彦
8	阿部 俊彦	全国の公園内美術館の類型化と公園内施設間の相互利用に関する研究 -滋賀県立美術館を対象とした公園内美術館に関する研究 その2-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集	前田里彩、寶珍宏元、阿部俊彦
9	阿部 俊彦	地方小都市における駅まち拠点のデザイン -滋賀県甲賀市貴生川駅前整備事業を対象として-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集 (建築デザイン発表)	望月俊男、鈴木雄太、阿部俊彦
10	阿部 俊彦	下水処理施設を活用した親水空間の再生 -滋賀県草津市帰帆島を対象として-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集 (建築デザイン発表)	明石夏林、前田里彩、阿部俊彦
11	阿部 俊彦	利用者の視点による駅前空間の利活用の検討手法-滋賀県 JR 南草津駅周辺エリアのワークショップおよび社会実験を通して その1-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集	住田琴音、寶珍宏元、阿部俊彦
12	阿部 俊彦	利用者のアクティビティ視点による駅前空間の計画案の検証 -滋賀県 JR 南草津駅周辺エリアのワークショップおよび社会実験を通して その2-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集	寶珍宏元、住田琴音、阿部俊彦
13	阿部 俊彦	ご心配カードを用いたまちづくりビジョン策定ワークショップの有効性-宮城県気仙沼市役所跡地周辺 (三日町・八日町地区) のまちづくりを事例として-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州・九州大学) 学術講演梗概集	出原 若奈、寶珍 宏元、阿部 俊彦
14	泉 知論	A Trial of Recognition of Electronic Parts by Deep-Learning for Efficient Recycling	2025 年 12 月	13th International Conference on Identification, Information & Knowledge in the Internet of Things (IIKI2025)	Takuto Shiraishi, Yihong Tang, Qi Li, Tomonori Izumi
15	井ノ口 宗成	令和6年能登半島地震における避難実態の調査分析～富山県を事例として～	2025 年 5 月	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	井ノ口 宗成、早木 姫奈乃
16	井ノ口 宗成	防災気象情報の不確実性評価と避難判断根拠としての活用可能性	2025 年 5 月	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	久志 勘太、井ノ口 宗成
17	井ノ口 宗成	住家被害認定業務における人材に着目した多面的分析—令和6年能登半島地震における氷見市を事例として—	2025 年 5 月	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	小松原 康弘、井ノ口 宗成
18	井ノ口 宗成	L 字情報を活用した地方テレビ局による災害情報発信の実態分析 —令和6年能登半島地震における富山県を事例として—	2025 年 5 月	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	坂東 海律、井ノ口 宗成
19	井ノ口 宗成	避難先情報の提示による避難率変化の考察 —富山市中心部におけるマルチエージェントシミュレーションの適用—	2025 年 5 月	日本地球惑星科学連合 2025 年大会	田中 利幸、井ノ口 宗成
20	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 -木造一般壁面仕様による浸水実験 その1-	2025 年 7 月	第20回歴史都市防災シンポジウム	遠藤直久・大島康輔・向井ひかり・藤本将光・里深好文

21	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 -土壁を対象とした浸水実験 その2-	2025 年 7 月	第 20 回歴史都市防災シンポジウム	伊藤東輝・大島康輔・藤本将光・里深好文・遠藤直久
22	遠藤 直久	木材の経年変化に関する考察 -重要伝統的建造物群の木製ファサードの外観調査を通して-	2025 年 7 月	第 20 回歴史都市防災シンポジウム	岡本怜・野村彦・遠藤直久
23	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 -土壁を対象とした浸水実験 その1-	2025 年 7 月	第 20 回歴史都市防災シンポジウム	原口晶・大島康輔・藤本将光・里深好文・遠藤直久
24	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 -木造一般壁面仕様による浸水実験 その2-	2025 年 7 月	第 20 回歴史都市防災シンポジウム	後藤瑞希・大島康輔・藤本将光・里深好文・遠藤直久
25	遠藤 直久	木造住宅壁部に対する浸水影響についての実験的検討 木造一般壁面仕様による浸水実験	2025 年 9 月	建築学会全国大会(九州)	遠藤直久
26	遠藤 直久	外観調査による建築外装木材の経年変化についての考察	2025 年 9 月	建築学会全国大会(九州)	岡本怜・遠藤直久
27	大窪 健之	“A Study on the Fire Spread Time Delay Effect of Traditional Component of Architecture – An Evaluation of the Window with an Ultra-fine Lattice”	2025 年 5 月	IIWC 2025 27th Symposium	Kodai Yokota, Takeyuki Okubo and Dowon Kim
28	大窪 健之	“Safeguarding World Heritage Worldwide: International Comparisons of Local Fire Challenges, Lessons From Past Fires, and Future Directions”	2025 年 5 月	IIWC 2025 27th Symposium	Min Li, Takeyuki Okubo, Shakya Lata, Dowon Kim and Aya Miyazaki
29	大窪 健之	避難所近隣の駐車場を活用した車中泊避難者への支援対策 –大津市の中心市街地を対象として–	2025 年 7 月	歴史都市防災シンポジウム 2025、 歴史都市防災論文集 vol.19, pp.229-236	朴祥完, 金度源, 大窪健之
30	大窪 健之	城郭における木造復元建造物の火災対策と課題 ～未指定文化遺産を火災から守り伝えるために～	2025 年 7 月	歴史都市防災論文集 vol.19, pp.241-248	大窪健之, 長谷川諒, 金度源
31	大窪 健之	町家を改修した看板建築の火災特性の評価 ～有松地区・山田家住宅を対象として～	2025 年 7 月	歴史都市防災論文集 vol.19, pp.249-256	河田直哉, 大窪健之, 金度源
32	大窪 健之	“Evaluation and proposal of river design aiming to achieve both water affinity and fire prevention - Case study of the Kamogawa River in Kyoto –”	2025 年 10 月	ICOMOS AGA2025 Scientific Symposium “PERCEPTIONS OF HERITAGE AND RESILIENCE” Disaster Risk Reduction and Preparedness	Takeyuki Okubo, Ayano Adachi and Dowon Kim
33	大窪 健之	“World Cultural Heritage and Armed Conflict: Analysing Current Challenges, Learning from the Past, and Shaping Future Solutions”	2025 年 10 月	ICOMOS AGA2025 Scientific Symposium “PERCEPTIONS OF HERITAGE AND RESILIENCE” Disaster Risk Reduction and Preparedness	Min Li, Takeyuki Okubo, Shakya Lata, Dowon Kim and Aya Miyazaki
34	大場 修	南丹市園部・八木町における茅葺系民家の定量分析に	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告会	渡邊隆之助・宮澤楠子・平尾和洋・大場修

		基づく分布域及び屋敷構えの考察-南丹市域の民家調査報告 その2-			
35	大場 修	京都府南丹市園部・八木町における類型的把握による集落構造の特徴と水防対策に関する研究-南丹市の民家調査報告 その4-	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告会	東村天・潮田龍諒・平尾和洋・大場修
36	大場 修	京都府亀岡旧城下町地区における初期消火の主体と環境物件等に視点を据えた延焼抑止力の効果検証	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告会	上本 愛仁・木村 愛美・平尾 和洋・大場 修
37	大場 修	南丹市園部・八木町における茅葺系民家の定量分析に基づく分布域及び諸特性の考察 -南丹市域の民家調査報告.その1-	2025 年 9 月	日本建築学会学術講演梗概集	井上円翔・宮澤楠子・平尾和洋・大場 修
38	大場 修	京都府南丹市園部・八木町における類型的把握による集落構造の特徴と水防対策に関する研究 - 南丹市域の民家調査報告. その2-	2025 年 9 月	日本建築学会学術講演梗概集	中谷紀克・潮田龍諒・平尾和洋・大場 修
39	小川 圭一	車両走行挙動からみたロードダイエットの実現可能性の検討 -京都市内の 4 車線道路を対象として-	2025 年 8 月	第 44 回交通工学研究発表会	小川圭一, 栗山燎
40	鐘ヶ江 秀彦	A New Trial of Coffee Waste Management by Utilization of Biochar in Indonesia	2025 年 10 月	日本地域学会第 62 回(2025)年次大会 学術発表論文集	Pipit Pajarwati, KANEGAE Hidehiko
41	鐘ヶ江 秀彦	Analysis of Two Types of South Sumatra Coffee Cherry Waste Biochar by JIS M 8812	2025 年 9 月	日本炭化学会 2025 年秋季全国大会	Pipit Pajarwati, KANEGAE Hidehiko, SHIBATAAkira
42	川崎 佑磨	Study on Material Design of Hardened Materials Using Hemicellulose as Binder	2025 年 5 月	8th World Conference on Advanced Materials, Nanoscience and Nanotechnology	Yuma KAWASAKI, Ayane YUI, Yuta YAMACHI, Ejazulhaq Rahimi
43	川崎 佑磨	Study on Conditions for Concrete Construction Using Lunar Simulant Sand	2025 年 5 月	8th World Conference on Advanced Materials, Nanoscience and Nanotechnology	Yuma KAWASAKI, Ayane YUI, Yuta YAMACHI, Ejazulhaq Rahimi
44	川崎 佑磨	Eco-Friendly Composite Development Using Cement Paste Waste, Hemicellulose, Chitosan, and Natural Fibers	2025 年 5 月	International Civil Engineering & Architecture Conference	Yuma KAWASAKI, Ayane YUI, Yuta YAMACHI, Ejazulhaq Rahimi
45	神田 孝治	変転する瀬戸内の観光と地域	2025 年 11 月	「繼往開来：第四屆全國地方學暨海山學研究中心創立、新北市立圖書館總館落成十週年」國際學術研討會	神田孝治
46	金 度源	避難所近隣の駐車場を活用した車中泊避難者への支援対策 -大津市の中心市街地を対象として-	2025 年 7 月	第 20 回歴史都市防災シンポジウム	朴祥完, 金度源, 大窪健之
47	金 度源	城郭における木造復元建造物の火災対策と課題 ～未指定文化遺産を火災から守り伝えるために～	2025 年 7 月	第 20 回歴史都市防災シンポジウム	大窪健之, 長谷川諒, 金度源
48	金 度源	町家を改修した看板建築の火災特性の評価 ～有松地区・山田家住宅を対象として～	2025 年 7 月	第 20 回歴史都市防災シンポジウム	河田直哉, 大窪健之, 金度源
49	木村 智	富家宏泰の北陸地域における建築作品の特徴と用途の傾向について	2025 年 7 月	日本建築学会北陸支部大会（新潟）	木村智, 清水優真, 澤俊輔

50	桜井 政成	質的研究における意図せぬセラピーの効果：発生要因と研究上の配慮の検討	2025 年 5 月	第 76 回関西社会学会大会	桜井政成
51	豊田 祐輔	Identifying Key Determinants of Coastal Household Health in Response to Flood Disasters: A Case Study of Shyamnagar, Bangladesh	2025 年 6 月	The 3rd TNDR (Thai Network for Disaster Resilience) International Conference	Roy Ksheeten and Toyoda Yusuke
52	豊田 祐輔	Factors Affecting the Subjective Well-Being of the Elderly in Public Rental Housing Communities: A Case Study of Chayamada Dai Danchi, Osaka, Japan	2025 年 6 月	The 3rd TNDR (Thai Network for Disaster Resilience) International Conference	Prasongchatchai Pornchai and Toyoda Yusuke
53	豊田 祐輔	Community Resilience for Earthquake Disaster Management (招待)	2025 年 7 月	16th International Graduate Students Conference on Population and Public Health Sciences (IGSCPP)	Toyoda Yusuke
54	豊田 祐輔	Disaster Risk Management: Harmonization of Top-Down and Bottom-Up Decision-Making Approaches (招待)	2025 年 9 月	The 7th EnvironmentAsia International Conference	Toyoda Yusuke
55	花岡 和聖	Mobile Phone Big Data Analysis and the COVID-19 Pandemic	2025 年 11 月	Northern Institute Seminar	Hanaoka, K.
56	花岡 和聖	Mobile Phone Big Data Analysis and the COVID-19 Pandemic	2025 年 12 月	CDU-Department of Treasury and Finance Demographic Research Seminar	Hanaoka, K.
57	平尾 和洋	京都市の公共路地における防災に対する事業者意識の把握とメニューの提案	2025 年 6 月	2025 年度日本建築学会近畿支部研究発表会、pp.217-220	藤井さくら,前田彩花,平尾和洋
58	平尾 和洋	京都府亀岡旧城下町地区における初期消火の主体と環境物件等に視点を据えた延焼抑止力の効果検証	2025 年 6 月	2025 年度日本建築学会近畿支部研究発表会、pp.213-216	上本愛仁,木村愛美,平尾和洋,大場修
59	平尾 和洋	京都府亀岡市域における旧山陰道・篠山街道沿い民家の屋敷構えに関する分析	2025 年 6 月	2025 年度日本建築学会近畿支部研究発表会、pp.149-152	三隅健太郎,渡部祐輝,平尾和洋
60	平尾 和洋	京都府南丹市園部・八木町における類型的把握による集落構造の特徴と水防対策に関する研究-南丹市域の民家調査報告その4-	2025 年 6 月	2025 年度日本建築学会近畿支部研究発表会、pp.65-68	東村天, 潮田龍諒,平尾和洋,大場修
61	平尾 和洋	南丹市園部町の茅葺系妻入棟割民家の実測と年代推定-南丹市域の民家調査報告その3-	2025 年 6 月	2025 年度日本建築学会近畿支部研究発表会、pp.61-64	平尾和洋,宮澤楠子
62	平尾 和洋	南丹市園部・八木町における茅葺系民家の定量分析に基づく分布域及び屋敷構えの考察-南丹市域の民家調査報告その2-	2025 年 6 月	2025 年度日本建築学会近畿支部研究発表会、pp.57-60	渡邊隆之助,宮澤楠子,平尾和洋,大場修
63	平尾 和洋	京都府亀岡市域における旧山陰道・篠山街道沿い民家の屋敷構えに関する分析	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.1009-1010	三隅健太郎,渡部祐輝,平尾和洋
64	平尾 和洋	京都市の公共路地における防災に対する事業者意識の把握とメニューの提案	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.69-70	藤井さくら,前田彩花,平尾和洋
65	平尾 和洋	京都府亀岡旧城下町地区における初期消火の主体と環	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.63-64	上本愛仁,木村愛美,平尾和洋

		境物件等に視点を据えた延焼抑止力の効果検証			
66	平尾 和洋	南丹市園部・八木町における類型的把握による集落構造の特徴と水防対策に関する研究－南丹市域の民家調査報告.その2－	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.31-32	中谷紀克, 潮田龍諒, 平尾和洋, 大場修
67	平尾 和洋	南丹市園部・八木町における茅葺系民家の定量分析に基づく分布域及び諸特性の考察－南丹市域の民家調査報告.その1－	2025 年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.29-30	井上円翔, 宮澤楠子, 平尾和洋, 大場修
68	福水 洋平	Puddle depth estimation method for autonomous driving system on unpaved road	2025 年 4 月	SPIE Defence + Commercial Sensing	Yukinori Okamura, Kazuya Monden, Shohei Yamashita, Iori Hashimoto, Yuki Uetsuki, Kazuhiro Furuhashi, and Yohei Fukumizu
69	福山 智子	載荷中のアコースティックエミッション測定によるセメントペースト内の骨材界面ひび割れ把握と電圧変動との相関 その 1 ひび割れの新生と進展に伴う電荷生成の影響	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	Yip Hoifong
70	福山 智子	載荷中のアコースティックエミッション測定によるセメントペースト内の骨材界面ひび割れ把握と電圧変動との相関 その 2 骨材の有無が材料間の摩擦に伴う電荷生成に及ぼす影響	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	八若凜太郎
71	福山 智子	載荷中のアコースティックエミッション測定によるセメントペースト内の骨材界面ひび割れ把握と電圧変動との相関 その 3 骨材形状の差異が材料間の摩擦に伴う電荷生成に及ぼす影響	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	福山智子
72	福山 智子	セメント系材料の電気インピーダンストモグラフィと周波数特性の関係 その 1: 母材と埋設物の導電率の影響	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	早川岬希
73	福山 智子	セメント系材料の電気インピーダンストモグラフィと周波数特性の関係 その 2: 埋設物配置や個数の影響	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	横田幸佑
74	福山 智子	カーボンナノチューブ混和セメントペーストの物性評価と最適調合の検討	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	新久保毅志
75	福山 智子	建設用 3D プリンタ積層体の積層界面破壊が圧縮荷重応答に及ぼす影響の実験的検討 その 1 端部拘束と荷重速度を低減した場合の応力－ひずみ関係	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	孔勁銘
76	福山 智子	建設用 3D プリンタ積層体の積層界面破壊が圧縮荷重応答に及ぼす影響の実験的検討 その 2 デジタル画像相関法による破壊状況の観察	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	植松蓮
77	福山 智子	塩化物イオン濃度の違いと材齢が特殊鋼材の腐食挙動	2025 年 8 月	日本建築学会年次大会	Kim Hojin

		に及ぼす影響の評価			
78	福山 智子	Clarifying the origins of voltage fluctuations in cementitious materials for non-destructive structural health monitoring	2025 年 11 月	Asian Concrete Federation	福山智子
79	福山 智子	Experimental study on the influence of interfacial failure on the compressive stress-strain behavior of 3D-printed mortar laminates for construction applications	2025 年 11 月	Asian Concrete Federation	植松蓮
80	福山 智子	Visualization of moisture flow in cement paste by using electrical impedance tomography	2025 年 11 月	Asian Concrete Federation	早川岬希
81	福山 智子	Evaluation of stress-induced polarization behavior in CNT-cementitious composites under cyclic loading and moisture variation	2025 年 11 月	Asian Concrete Federation	平山達也
82	藤本 将光	危機管理型ハード対策としての河川堤防上道路舗装補強による耐水性向上効果の検討	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	鮫島隆貴, 梶原秀宇, 里深好文, 藤本将光
83	藤本 将光	地盤材料が網状鉄筋挿入工の補強効果に及ぼす影響	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	藤本将光, 松尾錬, 鶴末早, 原田紹臣, 小西成治, 吉永憲次, 尾形武文, 里深好文
84	藤本 将光	籾殻灰を用いた異なる土壌における改良効果に関する研究：国頭マーグと笠岡粘土の比較	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	LI YU, 藤本将光, 中村達也, 宮本拓実, 糸数哲, 岩藤修一, 川崎佑磨, 里深好文
85	藤本 将光	樹冠高が地表面侵食に与える影響に関する研究	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	村田匡優, 藤本将光, Khwaja Mir Tamim HAQDAD, 里深好文
86	藤本 将光	混合粒径土石流の流動・堆積に関する実験とモデルの提案	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	榊原颯輝, 里深好文, 藤本将光
87	藤本 将光	清水寺における地下水位、湧水の発生状況の実態把握、挙動に関する研究	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	鹿島翔太, 藤本将光, 高尾宗志, 相倉邑哉, 宇次原雅之, 藤田哲, 里深好文, 深川良一
88	藤本 将光	鎖を部材に用いた透過型砂防堰堤の機能検討	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	本田明星斗, 里深好文, 藤本将光
89	藤本 将光	霞堤による支川の氾濫抑制に関する研究	2025 年	R7 年度砂防学会研究発表大会	金盛悠佑, 里深好文, 藤本将光
90	藤本 将光	地盤材料の違いがフルトパイル工法の補強効果に与える影響	2025 年	第 64 回日本地すべり学会研究発表大会	原田紹臣, 藤本将光, 小西成治, 佐藤登
91	藤本 将光	越流破堤に耐える粘り強い堤防舗装の実験的検証	2025 年	第 36 回日本道路会議	鮫島隆貴, 原田紹臣, 里深好文, 藤本将光, 久保田純司, 野本真兵
92	藤本 将光	Hydro-Sedimentological Dynamics of Rainfall Interception and Soil Erosion across Canopy Elevation Gradients	2025 年	16th International Symposium on the Interactions between Sediments and Water	Khwaja Mir Tamim Haqdad Yoshifumi Satofuka Masamitsu Fujimoto Masahiro Murata
93	本間 睦朗	光環境の修復に関する考察	2025 年 8 月	照明学会全国大会	本間睦朗
94	本間 睦朗	建築における光環境設計と建築様式の関係に関する研究	2025 年 9 月	日本建築学会学術講演会	本間睦朗、山口秀樹
95	本間 睦朗	歴史的建造物における光環境デザインの修復について	2025 年 9 月	日本建築学会学術講演会	伊藤由偉、本間睦朗

		の考察			
96	本間 睦朗	社会変化への追従を意識した電気設備設計としての照明に関する設備プラットフォームの研究	2025 年 9 月	日本建築学会学術講演会	松井舜、本間睦朗
97	向井 純子	ブータン国の文化遺産建造物と災害リスク管理の取り組みと課題	2025 年 6 月	第 19 回歴史都市防災シンポジウム	向井純子
98	向井 純子	ブータンの伝統的民家の建築的特徴と文化財的価値の評価 その 3 顕著な建築的特徴をもつブータン県の民家の実測調査	2025 年 9 月	2025 年度日本建築学会大会	金井健、友田正彦、浅田なつみ、黒岩千尋、福島啓人、海野聡、向井純子
99	向井 純子	ブータンの伝統的民家における上階への動線について	2025 年 9 月	2025 年度日本建築学会大会	友田正彦、金井健、マルティネスアレハンドロ、福島啓人、海野聡、向井純子
100	持田 泰秀	PCa 工法と在来工法のコンクリート表層性能の違いに関する研究 その 3 材齢 2 年間における設計基準強度とセメントの違いによる影響	2025 年 9 月	日本建築学会学術講演会	猪股史也 持田泰秀 坂田博史
101	持田 泰秀	木材継手の加工法による構造性能の違いに関する実験的研究	2025 年 9 月	日本建築学会学術講演会	小原愛美 持田泰秀
102	矢野 桂司	バーチャル京都の軌跡と未来 — 地理情報による都市の可視化と継承	2025 年 7 月	一般社団法人地理情報システム学会関西支部 2025 年度支部学術総会	矢野桂司
103	矢野 桂司	Building a GIS-Based Place Name Dictionary: Advancing Spatial Humanities with MapKurator and Historical Topographic Maps of Japan(査読あり)	2025 年 8 月	32nd International Cartographic Conference	Keiji Yano, Ryo Kamata, Kazumasa Hanaoka
104	矢野 桂司	「バーチャル京都」による歴史都市の時空間復原と空間人文学の展開	2025 年 9 月	韓国日本語教育学会 第 68 回 国際学術発表大会	矢野桂司
105	矢野 桂司	Constructing a Historical Gazetteer of Japan: GeoAI Extraction from 1:50,000 Old-Edition Topographic Maps	2025 年 11 月	The 17th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography	Keiji Yano, Ryo Kamata, Kazumasa Hanaoka
106	矢野 桂司	Past urban landscapes overlaying the map	2025 年 12 月	32nd International 25th CODH Seminar Historical Photographs and Urban Scape	Keiji Yano
107	矢野 桂司	立命館大学アート・リサーチセンターにおける DH 研究・教育の展開：文部科学省国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点(ARC-iJAC)」市の時空間復原と空間人文学の展開	2025 年 12 月	仏教学とデジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジウム DX-AI 時代における人文学の意義と研究基盤の構築	矢野桂司
108	矢野 桂司	立命館大学アート・リサーチセンターにおける ARC リサーチスペースの開発と運用	2025 年 12 月	仏教学とデジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジウム DX-AI 時代における人文学の意義と研究基盤の構築 Joint Conference on Geography	矢野桂司・山内啓之・堀池理生・美龍硬幸・鎌田 遼・赤間 亮
109	山口 洋典	災害時における総合型スポーツクラブの受援力発揮に関する一考察	2025 年 8 月	日本グループ・ダイナミックス学会第 71 回大会	山口洋典,山田一隆,滋野正道,武長理栄,荒尾裕子
110	山口 洋典	The Gap between the Essence of Service-Learning in the U.S. and	2025 年 8 月	IARSLCE 2025 25th Anniversary Conference	Hironori YAMAGUCHI (Ritsumeikan University) Kazutaka YAMADA

		the Educational Practice Environment in Japan : Emerging Points from the "Service-Learning Essentials" Translation and Read-Through Project			(Tokai University) Miki YAMASHITA (Reitaku University) Atsuko KURONUMA (International Christian University)
111	山口 洋典	Facilitating Volunteerism for the 2024 Noto Earthquake Revitalization as Against the Drive for Institutionalization: Through Focusing on the S-O-R Relationship based on the "SOFAR Model"	2025 年 8 月	IARSLCE 2025 25th Anniversary Conference	Hironori YAMAGUCHI (Ritsumeikan University) Kazutaka YAMADA (Tokai University) Masamichi SHIGENO (Ryukoku University)
112	山口 洋典	「アート」に基づいた質的研究 ー研究と実践・芸術と社会の混交へのまなざしー	2025 年 10 月	日本質的心理学会第 22 回大会	鮫島輝美、山口洋典、岸磨貴子、アサダワタル、山下里加
113	山口 洋典	援助?いえ、好奇心ですー 釜ヶ崎のココローム/釜ヶ崎芸術大学の日々人生劇場	2025 年 10 月	対人援助学会第 17 回年次大会	上田假奈代、山口洋典、村本邦子
114	山口 洋典	ボランティア学習のこれまでを俯瞰する	2025 年 11 月	日本ボランティア学習学会・第 28 回きょうと大会	山口洋典、名賀亨、小林洋司、興梠寛
115	山田 悟史	Isovist を用いた重複率に基づく連続性の空間把握に関する研究-斜交グリッドと直交グリッドを対象とした数理的な検証-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (建築計画), pp.348-348, 2025.9, 日本建築学会	岡崎輝一,山田悟史
116	山田 悟史	敷地の縦横比と遮蔽物の配置を加味した緑視率期待値線図の作成に関する研究	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (情報システム技術), pp.163-164, 2025.9, 日本建築学会	藤井健史,山田悟史
117	山田 悟史	安価に追設可能な「マイクロ総合環境センサ」の開発: システム構築と精度検証及び補正	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (環境工学), pp.1797-1798, 2025.9, 日本建築学会	濱大智,盧宏泰,岡本茂,山田悟史
118	山田 悟史	人の視認特性を反映させた Isovist 解析の提案-視点場と被視点場の位置関係に基づいて-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (建築計画), pp.349-350, 2025.9, 日本建築学会	本城真輝,山田悟史
119	山田 悟史	御堂筋における多様な都市モビリティの共存を想定した都市交通空間の設計評価	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (建築計画), pp.455-456, 2025.9, 日本建築学会	米光陸,山田悟史
120	山田 悟史	噴水プロジェクトンマップ	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) デザイン発表梗概集, pp.396-397, 2025.9, 日本建築学会	大島佳奈子,山田悟史
121	山田 悟史	流動都市・万博資材を活用した仮設都市の提案-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) デザイン発表梗概集, pp.52-53, 2025.9, 日本建築学会	山本愛子,山田悟史
122	山田 悟史	家を思い出帖に -デジタルコンテンツ・空間・人間の相互作用によるデジタルリノベーション-	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) デザイン発表梗概集, pp.594-595, 2025.9, 日本建築学会	小野葵,山田悟史
123	山田 悟史	3D プリンタの手動制御を用いた微細な空隙操作により透過率設定可能な遮蔽物の開発	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (情報システム技術), pp.51-52, 2025.9, 日本建築学会	宇佐美要成,山田悟史
124	山田 悟史	エージェント AI のための歩行者位置把握と空間 AI への発展可能性	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (情報システム技術), pp.193-194, 2025.9, 日本建築学会	江本舜,山田悟史
125	山田 悟史	パラメトリックデザインにおける案の探索支援システムの実装 ~Human-in-the-Loop を用いた感性評	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (情報システム技術), pp.191-192, 2025.9, 日本建築学会	田中雅也,山田悟史

		価による最適化～			
126	山田 悟史	南京玉簾を応用した新展開構法に向けた基礎研究	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州) 学術講演会梗概集 (構造 I) , pp.817-818, 2025.9, 日本建築学会	林優斗,山田悟史
127	山田 悟史	3D Gaussian Splatting を用いたデジタルツイン上での樹木配置最適化:緑視率とマルチモーダル評価を用いた遺伝的アルゴリズムによる手法	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.53-57,2025,12,日本建築学会	大野耕太郎, 山田悟史
128	山田 悟史	可変機構を利用した新たな動的平面計画の創造:物質的に再現可能なことを前提に	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.131-135, 2025,12,日本建築学会	大島佳奈子, 山田悟史
129	山田 悟史	ABW の促進を目指したインフラとなる安価に追設可能な「マイクロ総合環境センサ」:オフィスへの実装に向けた測位地点・範囲の拡張と安定性の向上	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.147-151, 2025,12,日本建築学会	濱大智, 山田悟史
130	山田 悟史	生成 AI を用いた音声によるフィジカルサウンドスケープデザイン手法: マルチモーダルな空間情報による文学生成	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.284-288, 2025,12,日本建築学会	大松瞬, 山田悟史
131	山田 悟史	人影を対象とするマルチカメラトラッキング:位置と外観と骨格を用いた多段階推定による固有 ID 付与	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.354-358, 2025,12,日本建築学会	江本舜, 李知殷, 山田悟史
132	山田 悟史	感性評価による高次元なパラメトリックデザインの最適化: Human-in-the-loop とベイズ最適化を用いて	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.135-139, 2025,12,日本建築学会	田中雅也, 山田悟史
133	山田 悟史	AR および Visual Positioning System を用いた消防隊ナビゲーションアプリの開発	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.101-105, 2025,12,日本建築学会	岡真琴, 山田悟史
134	山田 悟史	SNS型住空間ブラウジング・リコメンドシステム: 閲覧時間を基に	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.213-217, 2025,12,日本建築学会	水田薫花, 山田悟史
135	山田 悟史	即興的なダンスにおける身体表現・音・観客にตอบสนองする空間デザイン	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.97-101, 2025,12,日本建築学会	山村真未, 山田悟史
136	山田 悟史	建築物の夜間視野を再現・体験する XR アプリの研究	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ pp.294-295, 2025,12,日本建築学会	古山大成, 山田悟史
137	山田 悟史	マルチスライド機構による 3 次元曲面となる可変構造体の提案: 南京玉簾に発想を得て	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ pp.249-250, 2025,12,日本建築学会	林優斗, 山田悟史
138	山田 悟史	季節の幕: 動きと映像による季節感の表現により内外をつなぐフィジカルカーテン	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ pp.247-248, 2025,12,日本建築学会	小野葵, 山本紗綾, 山田悟史
139	山田 悟史	3D プリント積層痕レンズによる「煙」を彷彿する照明デザイン	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ pp.253-254, 2025,12,日本建築学会	宇佐美要成, 山田悟史
140	山田 悟史	対話を促進するオーディオリアクティブな VR 空間の設計	2025 年 12 月	第 48 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ pp.251-252, 2025,12,日本建築学会	川邊凌久, 山田悟史
141	山出 美弥	日本人観光客と外国人観光客のごみ問題に対する意識差に関する研究その 1ー京都嵐山におけるごみの量と	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	曽根杏音, 越後凜花, 清家悠大, 山出美弥

		ごみ箱設置についてー			
142	山出 美弥	日本人観光客と外国人観光客のごみ問題に対する意識差に関する研究その 2ー京都嵐における既存対策の効果とインセンティブー	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	越後凜花, 曾根杏音, 清家悠大, 山出美弥
143	山本 理佳	瀬戸内地域における近代の文化遺産と観光の多様性	2025 年 11 月	「繼往開來：第四屆全國地方學暨海山學研究中心創立十週年」國際學術研討會 (於國立臺北大学)	山本理佳
144	吉富 信太	対称性を有する空間構造建築物の地震応答制御のための TMD 最適設計手法	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	福島研人, 吉富信太
145	吉富 信太	重ね透かし梁を用いた新たな木質梁組の構造手法とその特性評価	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	山口真大, 吉富信太
146	吉富 信太	伝統木造建築を想定した制振装置による地震時応答の低減効果の検討	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	谷脇弘真, 吉富信太
147	吉富 信太	土壁の小舞仕様の違いによる性能評価	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	東山いちご, 吉富信太
148	吉富 信太	曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の性能評価	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	久保田詩音, 吉富信太
149	吉富 信太	令和 6 年能登半島地震における輪島市黒島地区の被害調査と復旧支援 その 1 調査と支援の概要	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	西川英佑, 瀧野敦夫, 宮本慎宏, 須田達, 河原大, 田淵敦士, 腰原幹雄, 福島佳浩, 角田功太郎, 吉富信太
150	吉富 信太	令和 6 年能登半島地震における輪島市黒島地区の被害調査と復旧支援 その 6 部分二階建て建物の地震被害例	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	吉富信太, 西川英佑, 田淵敦士
151	吉富 信太	耐力壁要素の静的載荷試験と微動計測を用いた損傷時の性能評価に関する研究	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	藤野絢子, 吉富信太, 瀧野敦夫, 寺井千裕
152	吉富 信太	市松状 CLT パネルを用いた耐力壁の構造的特性に対する検討と最適設計	2025 年 9 月	日本建築学会大会 (九州)	松本忍, 吉富信太
153	吉富 信太	PERFORMANCE BASED DESIGN METHOD FOR TIMBER UNIT LOADBEARING WALL COMPOSED OF CURVED MEMBERS CONSIDERING GEOMETRIC NONLINEARITY AND PERFORMANCE OF JOINTS	2025 年 7 月	World conference on timber engineering 2025	Shion Kubota, Ayumu Yasui, Shinta Yoshitomi
154	吉富 信太	広域地震後の建物被害推定に向けたニューラルネットワークー構造種別および地盤の増幅特性を考慮したシステムー	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	李睿原, 吉富信太
155	吉富 信太	重ね透かし梁を用いた新たな木質梁組の構造手法とその特性評価	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山口真大, 吉富信太
156	吉富 信太	土壁の小舞仕様の違いによる性能評価	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	東山いちご, 吉富信太
157	吉富 信太	市松状 CLT パネルを用いた耐力壁の構造的特性に対する検討と最適設計	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	松本忍, 吉富信太
158	吉富 信太	耐力壁要素の静的載荷試験と微動計測を用いた損傷時	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	藤野絢子, 吉富信太

		の性能評価に関する研究			
159	吉富 信太	伝統木造建築を想定した制振装置による地震時応答の低減効果の検討	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	谷脇弘真, 吉富信太
160	吉富 信太	京町家の連棟間の接触部分が地震時応答に及ぼす影響に関する検討	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	井上斐文, 吉富信太
161	吉富 信太	建築構造物の部分性能推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山本康央, 吉富信太
162	吉富 信太	対称性を有する空間構造建築物の地震応答制御のための TMD 最適設計手法	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	福島研人, 吉富信太
163	吉富 信太	CLT 折板アーチ屋根におけるモデル形状と木材量による構造性能の分析	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	井川快斗, 吉富信太
164	吉富 信太	曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の性能評価	2025 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	久保田詩音, 吉富信太
165	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Arqueología pública y política en áreas urbanas: problemas y perspectivas en la administración del patrimonio cultural del distrito de La Molina (Lima, Perú)	2025 年 5 月	XXXVII Congreso Internacional CANELA (Poster Presentation)	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
166	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Proyecto Nikkei+R: creando núcleos de investigación interdisciplinaria sobre la inmigración transnacional entre Japón y Latinoamérica	2025 年 5 月	XXXVII Congreso Internacional CANELA (Poster Presentation)	Daniel Dante Saucedo Segami, María Yotova, Isabel Cabaña Rojas
167	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Archaeologists as Facilitators: Archaeological Heritage and Social Cohesion in Lima, Peru	2025 年 6 月	World Archaeology Congress 10, Darwin, Australia	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
168	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Sitios arqueológicos monumentales y participación vecinal Redefiniendo el valor del patrimonio arqueológico en áreas urbanas de Lima, Perú	2025 年 6 月	56th Congress of Americanists, Novi Sad, Serbia	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
169	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Sitios arqueológicos y áreas verdes Problemas y posibilidades de la planificación de parques sobre el Patrimonio	2025 年 6 月	56th Congress of Americanists, Novi Sad, Serbia	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
170	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	現代都市のパブリック考古学研究 —ペルーリマ市における地域住民による遺跡保護の促進—	2025 年 7 月	文化遺産国際協力コンソーシアム 第 24 回中南米分科会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ
171	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Historical Roads as Cultural Resources in Japan: The Potential of Community-Based Initiatives	2025 年 7 月	Rural Tourism as a Response to Overtourism: A Comparative Perspective International Workshop on Gastronomy and Rural Tourism - Bergamo University	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
172	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Desafíos y posibilidades de las asociaciones peruanas en Japón: La Asociación Académica	2025 年 9 月	Simposio Internacional Perspectivas interdisciplinarias de la migración peruana al Japón, Ritsumeikan University	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante

		Peruano Japonesa – APEJA			
173	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Nikkei+R プロジェクトー国際共同研究を促進するための研究拠点の形成ー	2025 年 9 月	国際公開講演会 日本とペルーにおけるディアスポラ研究：国際共同研究の新たな視点	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
174	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	地域の歴史とレジリエンスー文化、制度の知恵を現代に活かす	2025 年 11 月	立命館大学 環太平洋文明研究センター2025 年度 R-GIRO 公開シンポジウム（ラウンドテーブル）「レジリエンスを語るー昔の知恵から未来のヒントまで	矢野 健一、宮脇 昇、SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante
175	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	遺産と社会的記憶ーペルー・カハマルカ州パコパンバ村における考古遺産と無形文化遺産の統合戦略ー	2025 年 12 月	古代アメリカ学会 第 30 回研究大会・総会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ、關 雄二
176	王 旻	日本自衛隊の「災害派遣」：自衛隊による災害救援活動の歴史的回顧	2025 年 7 月	第 18 回中国政治学と国際関係学術共同体年会	王旻
177	王 旻	四川大震災後中国の文化財・文化遺産防災体制の展開	2025 年 7 月	第 19 回歴史都市防災シンポジウム	王旻
178	王 旻	ポスト冷戦期の中国人民解放軍及び日本自衛隊の災害救援活動ー進化論的アプローチによる分析	2025 年 10 月	日本国際政治学会 2025 年度研究大会	王旻
179	李 敏	Safeguarding World Heritage Worldwide: International Comparisons of Local Fire Challenges, Lessons from Past Fires, and Future Directions	2025 年 5 月	IIWC 2025 Annual Meeting and 27th Symposium	Min Li, Okubo Takeyuki, Shakya Lata, Dowon Kim, Aya Miyazaki
180	李 敏	World Cultural Heritage and Armed Conflict: Analyzing Current Challenges, Learning from the Past, and Shaping Future Solutions	2025 年 10 月	ICOMOS AGA2025 Scientific Symposium	Min Li, Okubo Takeyuki, Shakya Lata, Dowon Kim, Aya Miyazaki

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第 1 回定例研究会	歴防 カンファレンスホール	2025 年 5 月	23	なし
2	第 19 回シンポジウム	衣笠キャンパス 存心館+Zoom	2025 年 7 月	219	日中韓三国協力事務局（特別セッションのみ）
3	第 2 回定例研究会	Zoom	2025 年 10 月	21	なし
4	第 3 回定例研究会	歴防 カンファレンスホール	2025 年 12 月	18	なし
5	第 4 回定例研究会	Zoom	2026 年 2 月	42	なし
6	第 5 回定例研究会	歴防 カンファレンスホール	2026 年 3 月	18	なし

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	青柳 憲昌	「湖南市文化財講座 善水寺本堂保存修理事業の現場見学会」湖南市主催、講師として、於善水寺、2025 年 5 月 18 日	国宝善水寺本堂	2025 年 5 月
2	青柳 憲昌	「高山寺本堂（1968）の建築史的価値ー歴史都市防災の観点から RC	歴史都市防災研究所	2025 年 5 月

		造伝統意匠を再評価する―」歴史都市防災研究所定例研究会、2025 年 5 月 31 日、於・歴史都市防災研究所		
3	青柳 憲昌	「歴防・収蔵品展 文化財修理工事報告書」歴史都市防災研究所 1 階展示ルーム、展示用パネル作成、会期：2025 年 6 月 9 日～7 月 25 日	歴史都市防災研究所	2025 年 6～7 月
4	青柳 憲昌	観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」湖南省建造物の内容監修	―	2025 年 7 月
5	青柳 憲昌	「歴史的建造物の保存修理と近代寺院様式の創造―文化財修理技術者・大岡實と高山寺本堂―」令和 7 年度和歌山県文化財保護指導委員専門研修会、主催：和歌山県教育委員会、2025 年 10 月 29 日、於・田辺市市民活動センター	田辺市市民活動センター	2025 年 10 月
6	青柳 憲昌	「未来へ受け継ぐ文化芸術インタビュー #2 解釈と復元で文化をつなぐ、建築学の視点 青柳憲昌」『AD STUDIES』2025 年 12 月号、pp.10-15	『AD STUDIES』2025 年 12 月号	2025 年 12 月
7	阿部 俊彦	貴生川まちづくり活動支援業務委託（その 4）	甲賀市	2025 年度
8	阿部 俊彦	町野地区復興まちづくりワークショップ支援業務委託	輪島市	2025 年度
9	阿部 俊彦	ひらかれたパナソニック構想の都市デザイン（受託研究）	草津市	2025 年度
10	阿部 俊彦	UR 総持寺団地の再生まちづくり提案	茨木市	2025 年度
11	阿部 俊彦	事前復興まちづくりのススメ	INEX 推進会議@京都市役所	2025 年 12 月
12	阿部 俊彦	まちづくりと公共建築の整備	国土交通大学校 専門課程 建築計画（企画・設計）研修 講師	2025 年 12 月
13	阿部 俊彦	東日本大震災の津波被災地の復興まちづくり	立命館大学災害危機レジリエンスセンター設立記念シンポジウム、パネラー	2025 年 11 月
14	阿部 俊彦	気仙沼内湾地区ウォーターフロント	土木学会デザイン賞受賞記念イベント「設計者が語る！気仙沼の土木デザイン」講演、パネラー	2025 年 6 月
15	井ノ口 宗成	安全・安心・安定のための危機管理～DX 加速化社会での多様性と複雑性～	関西地区防災講演会（NEXCO 西日本関西支社・公益財団法人高速道路調査会防災エキスパート関西支部）	2025 年 5 月
16	井ノ口 宗成	南海トラフ地震にそなえる防災情報シナリオ	第 12 回「震災対策技術展」大阪	2025 年 7 月
17	井ノ口 宗成	「風水害・土砂災害の備え」「行政の災害対策と危機管理」等	防災士研修講座	2025 年 8 月, 9 月, 10 月, 11 月, 12 月, 2026 年 1 月, 3 月
18	井ノ口 宗成	Earthquake and disaster management: A case study from Japan	Architecture & Design for Society Lecture Series AY2025 (Chulalongkorn University)	2025 年 9 月
19	井ノ口 宗成	過去災害を踏まえた巨大災害の防災シナリオ	日本技術士会北陸本部 第 10 回防災講演会	2025 年 9 月
20	井ノ口 宗成	志賀町議会 BCP 策定にむけて	志賀町議会 防災研修会	2025 年 9 月
21	井ノ口 宗成	災害時の見通しと戦略的行動指針	富山県消防学校 特別教育 自然災害科（第 3 期）	2025 年 10 月
22	井ノ口 宗成	警報避難における情報処理／警報避難における意思決定	令和 7 年度 内閣府防災スペシャリスト養成研修（警報避難コース 第 2 期）	2025 年 11 月
23	井ノ口 宗成	近年の災害と対策の変遷 ～弱いところに被害が集約される傾向に～	令和 7 年度 富山県肢体不自由特別支援学校 P T A 連絡会 研修会	2025 年 12 月
24	井ノ口 宗成	災害の最悪シナリオと 30 万人超えの防災士	富山県防災士会 令和 7 年研修会	2025 年 12 月
25	井ノ口 宗成	警報避難における情報処理／警報避難における意思決定	令和 7 年度 内閣府防災スペシャリスト養成研修（警報避難コース 第 3 期）	2026 年 1 月
26	遠藤 直久	MokumonoMania(廃木材利用ものづくりワークショップ) 立命館いばらき×立命館 DAY2025	立命館大学大阪いばらきキャンパス	2025 年 5 月

		出展		
27	遠藤 直久	MokumonoMania(廃木材利用ものづくりワークショップ) 立命館 GlobalWeek 出展	立命館大学大阪いばらきキャンパス	2025 年 11 月
28	遠藤 直久	琵琶湖ビエンナーレ 2025 作品出展	滋賀県 近江八幡旧市街地	2025/6～2025/11
29	遠藤 直久	草津道の駅屋外トイレ新設 基本設計計画(進行中)	滋賀県 草津市	2025/6～2025/12
30	大窪 健之	Climate Change and Traditional Knowledge for Disaster Mitigation of Flood and Storm in Japanese Architectures and Historic Cities	2025 ICOMOS Asia-Pacific Regional Meeting	2025 年 4 月
31	大窪 健之	モデレーター：Special Session among Local Governments from China, Japan, and ROK on the Restoration and Disaster Reduction of Damaged Cultural Properties and Historic Cities	日中韓三国協力会議 (TCS)	2025 年 7 月
32	大窪 健之	文化観光都市における帰宅困難者対策		2025 年 7 月
33	大窪 健之	招待講演：Disaster Risk Management Strategies and Key Considerations for World Heritage Sites、	2025 Hoeamsaji International Symposium - Hoeamsaji and East Asian Buddhist Heritage: Case Studies and Strategies for World Heritage Nomination -	2025 年 8 月
34	大窪 健之	基調講演：Research on Historical Courtyards Used for Evacuation Sites in Gorkha Earthquake 2015 - At Patan old town, World Heritage Site in Nepal -	ISC CONTRIBUTIONS- ICORP -, ICOMOS AGA2025	2025 年 10 月
35	大場 修	京都番組小学校の明治-大正-昭和-災害からのコンクリート校舎誕生物語-	立命館大学「立命館土曜講座」	2025 年 11 月
36	大場 修	なぜ旧京藤家住宅は重要文化財なのか	旧京藤家住宅重要文化財指定記念式典・記念講演	2025 年 11 月
37	大場 修	地域の人知らない「篠山町家」の魅力と価値 -城下と街道をつなぐ「町家構え」を読み解く-	丹波篠山市「景観フォーラム」	2025 年 12 月
38	大場 修	京町家カルテ委員長が見た住まいの形-洛北の民家徹底解説-	京都市景観まちづくりセンター「京町家再生セミナー」	2026 年 2 月
39	大場 修	尼崎市の登録文化財民家を巡る (仮)	尼崎市教育委員会「尼崎市文化財保存活用計画策定記念シンポジウム」	2026 年 3 月
40	岡井 有佳	人口減少下における開発許可制度のありかた	大阪府開発指導行政協議会都市計画研修会	2025 年 7 月
41	岡井 有佳	用途地域制の指定と運用実態にみる課題	日本建築学会大会研究協議会『成熟と不確実性時代のゾーニング制度を考える』	2025 年 9 月
42	鐘ヶ江 秀彦	Super Resilient City toward Society 5.0 through Virtualized Urban Transformation Shifting Virtualization & Parknized city	日本都市計画学会・香港都市計画学会・シンガポール都市計画学会共同国際オンライン・シンポジウム	2025 年 11 月
43	鐘ヶ江 秀彦	仮想化する都市社会 公園化する都市	日本地域学会第 62 回全国大会シンポジウム・基調講演・パネリスト	2025 年 10 月
44	鐘ヶ江 秀彦	New participatory urban public space movement: Virtualizing Urban-Society and Parknization toward Urban-Dynamics/Activities	Webinar W.6 EP.4 – "Streets for People" 2025 , Health City Network, Government of Thailand	2025 年 8 月
45	鐘ヶ江 秀彦	Urban Transformations Toward Society 5.0	Symposium II, Sharing 21st Century's Cities, Suatainable Innovation and Urban Transformation 2025, Health City Network, Government of Thailand	2025 年 6 月
46	川崎 佑磨	Study on Material Design of Hardened Materials Using Hemicellulose as Binder	8th World Conference on Advanced Materials, Nanoscience and Nanotechnology	2025 年 5 月

47	川崎 佑磨	Study on Conditions for Concrete Construction Using Lunar Simulant Sand	8th World Conference on Advanced Materials, Nanoscience and Nanotechnology	2025 年 5 月
48	川崎 佑磨	Eco-Friendly Composite Development Using Cement Paste Waste, Hemicellulose, Chitosan, and Natural Fibers	International Civil Engineering & Architecture Conference	2025 年 5 月
49	神田 孝治	沖縄国際海洋博覧会と沖縄観光	吹田市立博物館 講演会	2025 年 5 月
50	木村 智	建築家のデザイン論研究のすすめ	立命館大学 学びのプラットフォーム MIRAI オンラインセミナー	2025 年 12 月
51	豊田 祐輔	‘The Origin of ISAGA Simulation Gaming Competition (ISGC)’ ‘ISAGA Conference 2025’	Stuttgart, Germany	2025 年 7 月～2025 年 7 月
52	豊田 祐輔	「(体験セッション) 災害リスク認知と行動学習を通じた教育と行政課題認知の試みー大学生の防災すごろくゲーム「BOUSAI JAM」を通してー」日本シミュレーション&ゲーミング学会 『日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2025 年秋号』41-46 頁	甲南女子大学、兵庫県	2025 年 11 月～2025 年 11 月
53	豊田 祐輔	Earthquake Lessons from Japan: What can Thailand Learn? (Open Lecture)	“Climate and Disaster Resilience (course provided for undergraduate students at Chulalongkorn University and the public)”	2025 年 4 月
54	豊田 祐輔	「未来の防災体験」展示 (監修)	西菱電機株式会社、2025 年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)	2025 年 5 月
55	豊田 祐輔	水の危険から逃げろ!!! (防災ゲーム) (茨木市総務部危機管理課共同)	いばらき×立命館 DAY2025 (立命館大学主催; 参加者: 一般市民)	2025 年 5 月
56	豊田 祐輔	万博でリアル避難体験 未来の防災も「共助」重要	共同通信	2025 年 6 月
57	豊田 祐輔	地震の揺れを体験してみよう! (大阪ガスネットワーク×立命館大学×太平洋学園高等学校)	せんちゅうパル自由研究ストリート (せんちゅうパル主催; 参加者: 小学生) せんちゅうパル、日本: 大阪	2025 年 8 月
58	豊田 祐輔	京都の地震災害・これからできる地域防災	京都 SKY シニア大学: アクティブシニアライフコース (参加者: 高齢者)	2025 年 9 月
59	豊田 祐輔	茨木市における地震リスクとその課題	リアル防災 lab	2025 年 9 月
60	豊田 祐輔	水の危険から逃げろ!!! (防災ゲーム)	令和 7 年茨木市市民水害対策訓練 (茨木市主催; 参加者: 一般市民)	2025 年 9 月
61	豊田 祐輔	Tsunami and Earthquake:: Lessons Leant from Japan (20251030)’ & ‘Gaming Simulation: Tool for Climate and Disaster Resilience (20251106)’	Climate and Disaster Resilience (course provided for undergraduate students at Chulalongkorn University)	2025 年 10 月
62	豊田 祐輔	防災グッズ発掘隊への講評 (定められた金額で商業施設において防災グッズを購入し、内容を競う)	六地藏エリア地域防災イベント	2025 年 11 月
63	豊田 祐輔	水並べ&防災釣りゲーム	親子で学ぶ おにクルこども防災～考えてみよう、小さなこどもとの避難 (茨木市主催; 参加者: 一般市民)	2025 年 11 月
64	豊田 祐輔	防災釣りゲーム・新聞紙でお皿づくり	2025 年度棧橋通三丁目東地区防災会 防災フェスタ (訓練) (棧三東町内防災会; 参加者: 住民) 六町会館、高知	2025 年 11 月
65	豊田 祐輔	防災釣り・クイズゲーム (大阪府池田土木事務所・大阪府都市整備部事業調整室都市防災課共同)	第 13 回神崎川流域合同防災訓練、豊中市立グリーンスポーツセンター、大阪	2025 年 11 月
66	花岡 和聖	なみえまちあるき〜こどもたちが主役の復興まちづくり〜	福島県浪江町なみえ創成小学校	2025 年 6 月・7 月
67	花岡 和聖	まちたんけん&安全安心マップづくり	京都市六満こども館	2025 年 7 月
68	仲谷 善雄	京都駅周辺地域都市再生緊急整備協議会	図上訓練 (下京区役所)	2025 年 12 月

69	深川 良一	土砂災害	聖泉大学・防災論（特別講義）	2025 年 9 月
70	深川 良一	土砂災害	びわ湖東北部地域連携協議会 2025 年度防災士養成講座	2025 年 10 月
71	深川 良一	土砂災害（第 3 講）	令和 7 年度京都府防災士養成研修	2025 年 12 月
72	深川 良一	土砂災害（第 3 講・第 16 講）	令和 7 年度滋賀県自主防災組織リーダー・防災士養成講座	2025 年 12 月
73	深川 良一	2025 年 8 月鹿児島豪雨災害視察結果報告～河川護岸と道路の損壊～	2025 年立命館大学防災フロンティア研究センター防災情報シンポジウム	2025 年 12 月
74	深川 良一	近年における滋賀県の土砂災害とその傾向	関西 G 空間フォーラム in 滋賀	2026 年 2 月
75	藤本 将光	京都東山の成り立ちと土砂災害論	京都伝統文化の森推進センター 第 45 回公開セミナー	2025 年 9 月
76	向井 純子	Cultural Heritage and Conservation Study Enhancement in Bhutan	ブータン内務省文化国語振興局およびブータン王立大学科学技術カレッジ	FY2024～2025
77	向井 純子	Bhutan Cultural Heritage Open Knowledge	ブータン内務省文化国語振興局	FY2025～2026
78	向井 純子	沖縄県近現代建造物緊急重点調査事業統括委員代表	公益社団法人 日本建築士会連合会（文化庁委託事業）	2024～2025 年度
79	向井 純子	沖縄県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講座 実施委員代表	公益社団法人 沖縄県建築士会（文化芸術振興費補助事業）	2025 年度
80	向井 純子	ヘリテージエコシステム事例	日本イコモス ヘリテージエコシステム小委員会	2025 年度
81	向井 純子	Cultural Heritage Value-Evaluation and Interpretation	ブータン内務省文化国語局主催 Training Program on Conservation of Heritage Sites	2025 年 5 月
82	向井 純子	なにを保全・継承するのかという問い	沖縄県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講座 2025	2025 年 8 月
83	向井 純子	基礎理論講義「文化遺産と防災」	立命館大学ユネスコチェアサマースクール 2025	2025 年 9 月
84	村中 亮夫	【防災研究の最前線】地域に学ぶ災害文化―東日本大震災からの 14 年―	立命館大学歴史都市防災研究所 洛星高等学校 高大連携講座	2025 年 7 月
85	村中 亮夫	北海道えりも高等学校「総合的な探究の時間」	北海道えりも高等学校 総合的な探究の時間	2025 年 8 月
86	村中 亮夫	【集まれ地理好き！】君の"好き"を地域の"チカラ"に―地理を活かした交通まちづくり―	静岡県立掛川西高等学校 2025（令和 7）年度 大学模擬講義「ミニ大学」講座	2025 年 9 月
87	村中 亮夫	【防災研究の最前線】古地名で読み解く災害文化―岩手県三陸沿岸地域―	静岡県立掛川西高等学校 2025（令和 7）年度 大学模擬講義「ミニ大学」講座	2025 年 9 月
88	森田 耕平	鉄道貨物輸送の展開とモーダルシフトの取組み 模擬講義	近江兄弟社高等学校	2025 年 11 月
89	山出 美弥	離島地域における防災連携と歴史的都市景観の保全に関する考察―福江島・小値賀島を対象として―	立命館大学歴史都市防災研究所, 2025 年度 第 3 回定例研究会	2025 年 12 月
90	吉富 信太	The University's initiative for disaster prevention and recovery	2025 "Cultural Resilience and Climate Change": SIG International Exchanges Forum	2025 年 9 月
91	李 敏	Disaster Risk Management at World Cultural Heritage Sites: Exploring Local Challenges and Insights, Lessons from Climate Change-Related Disasters, and Strategic Directions for the Future	Climate change session at 2025 DRR Conference	2025 年 4 月
92	李 敏	東アジアの歴史的市街地における火災リスクと対策	UNESCO Chair Cultural Heritage and Risk Management	2025 年 9 月
93	李 敏	Climate Change and World Cultural Heritage Sites: Damage Caused by Climate-Related Disasters and Strategic Directions for the Future	UNESCO-NUS-SEU FIELD SCHOOL CULTURAL HERITAGE AND CLIMATE CHANGE IN ASIA: Impacts, Adaptation, and Mitigation	2025 年 9 月

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	阿部 俊彦	公益財団法人日本デザイン振興会	グッドデザイン賞 キャンパス	立命館大学大阪いばらきキャンパス H 棟	2025 年
2	阿部 俊彦	土木学会	デザイン賞 優秀賞	気仙沼復興照明計画	2025 年
3	伊藤 真一	公益社団法人 土木学会	論文奨励賞	携帯型ミニディスクインフィルトロメータを用いた透水試験の計測データに基づく不飽和浸透特性パラメータの推定方法の提案	2025 年 6 月
4	金 度源	Le Vie dei. Mercanti	Best Paper Award, Le Vie dei. Mercanti XXIII International Forum WORLD HERITAGE and Food to Feed	Possibilities of supportance for tourists, utilizing the disaster prevention resources in a historic hot spring resort around Dogo Onsen in Japan	2025 年 6 月
5	里深 好文	公益社団法人 土木学会 土木情報学委員会	土木情報学論文賞	数値標高モデルに基づく鉄道沿線落石危険箇所の特定手法	2025 年 9 月
6	豊田 祐輔	TNDR (Thai Network for Disaster Resilience)	Best Award (in the International Session) of the The 3rd TNDR (Thai Network for Disaster Resilience) International Conference	Factors Affecting the Subjective Well-Being of the Elderly in Public Rental Housing Communities: A Case Study of Chayamadai Danchi, Osaka, Japan	2025 年 6 月
7	山口 洋典	日本 NPO 学会	第23回日本 NPO 学会賞・優秀賞	コミュニティ・デザイン新論	2025 年 6 月

7. 科学研究費助成事業（科研費）						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	吉富 信太	建築構造物の部分損傷推定のためのマルチチャンネル振動計測による逆問題手法の構築	基盤研究(B)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	代表者
2	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Modern Cities and Archaeology: A Study on the Revalorization of Archaeological Remains from a Cultural Heritage Perspective	基盤研究(C)	2022 年 4 月	2026 年 3 月	代表者
3	花岡 和聖	センサスデータを用いたオーストラリアにおける移民の地方定住に関する地理学的研究	基盤研究(C)	2022 年 4 月	2026 年 3 月	代表者
4	山出 美弥	原発事故後のシビアな土壌汚染地のコミュニティ再生に向けた地方再生政策への提言	基盤研究(C)	2024 年 2 月	2028 年 3 月	代表者
5	山田 悟史	深層学習を基盤とするコンテンツ生成型 AI と人間の共創	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2027 年 3 月	代表者
6	山本 理佳	現代のヘリテージ化における観光の影響に関する研究—近代産業遺産を事例に—	基盤研究(C)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	代表者
7	矢野 桂司	学際的な研究基盤となる日本の「GIS 地名辞書」の開発に関する地理学的研究	挑戦的研究（開拓）	2022 年 6 月	2027 年 3 月	代表者
8	大場 修	「戦後民家学」構築のための初動的研究	挑戦的研究（萌芽）	2024 年 6 月	2026 年 3 月	代表者
9	北西 諒介	町名の分析を通じた地名の価値観とその変遷に関する人文地理学研究	研究活動スタート支援	2024 年 7 月	2026 年 3 月	代表者
10	大場 修	「戦後民家学」構築のための実証的研究	基盤研究(B)	2025 年 4 月	2029 年 3 月	代表者
11	寺床 幸雄	農村ガバナンスの変容と持続可能性に関する国際比較研究: ドイツと日本を中心として	基盤研究(C)	2025 年 4 月	2028 年 3 月	代表者
12	伊藤 真一	データサイエンスによる浸透解析シミュレーションの高度化に関する研究	基盤研究(C)	2025 年 4 月	2028 年 3 月	代表者
13	阿部 俊彦	気候変動に適応する「流域空間デザイン」の方法論の開発	基盤研究(B)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	分担者

14	岡井 有佳	「もう一つのモダニズム」による地域性の再構築 フェルナン・プイヨンの生涯業績	基盤研究(B)	2024 年 4 月	2029 年 3 月	分担者
15	阿部 俊彦	海岸堤防事業の合意形成プロセスの方法論分析による協働意思決定モデルの構築	基盤研究(B)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	分担者
16	木村 智	クリスタル・パレスのリバースエンジニアリング 構法史における工学的分析手法の確立	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	分担者
17	山田 悟史	VR 空間での注視・歩行実験にもとづく確率的行動モデリングによる視覚場デザイン	基盤研究(B)	2024 年 4 月	2026 年 3 月	分担者
18	矢野 桂司	不完全空間情報による空間推論のためのツールボックスの開発と応用	基盤研究(A)	2022 年 4 月	2027 年 3 月	分担者
19	花岡 和聖	気候変動に適応する「流域空間デザイン」の方法論の開発	基盤研究(B)	2023 年 4 月	2027 年 3 月	分担者
20	村中 亮夫	地理的・縦断的な社会調査データの構築による都市変化の解明	基盤研究(B)	2024 年 4 月	2028 年 3 月	分担者
21	寺床 幸雄	健康の都市農村格差を計測する都市ー農村連続体指標の開発	基盤研究(B)	2025 年 4 月	2028 年 3 月	分担者
22	山出 美弥	喪失技術としての炭滓・鉱滓煉瓦の復元ー現代インドの複合 S D G s 課題解決に向けてー	基盤研究(B)	2023 年 4 月	2027 年 3 月	分担者
23	山出 美弥	公立学校・廃校をコミュニティ・ハブに転換する計画・運営・プロセスとその評価指標	基盤研究(B)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	分担者
24	桜井 政成	住民のヘルスアウトカムに寄与する住民組織養成プログラムの開発と実装モデルの構築	基盤研究(B)	2021 年 4 月	2026 年 3 月	分担者
25	山出 美弥	高度経済成長期以降に開発された大規模な別荘地の実態解明	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2028 年 3 月	分担者

8. 科研費を除くすべての外部資金（政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等）						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	大場 修	阿智村・駒場地区 集落町並み形成の歴史と現在に関する調査研究	受託研究 阿智村	2025 年 5 月	2026 年 3 月	代表
2	里深 好文	水理模型実験によるコンクリートブロック堰堤の透水機能と性能に関する考察	受託研究 共和コンクリート工業株式会社	2025 年 10 月	2026 年 3 月	代表
3	大窪 健之	国指定重要文化財旧尾藤家住宅における避難経路の作成	受託研究 与謝野町	2025 年 10 月	2026 年 3 月	代表
4	藤本 将光	文化財石垣の安定性検証の振動台実験に関する研究	受託研究 株式会社フジヤマ	2025 年 11 月	2027 年 5 月	代表
5	大窪 健之	たつの市龍野伝統的建造物群保存地区防災計画策定に向けたシミュレーション	受託研究 株式会社地域計画建築研究所	2026 年 1 月	2027 年 3 月	代表
6	深川 良一	教育研究助成の為	奨学寄付 日特建設株式会社	2025 年 6 月	-	代表
7	藤本 将光	教育研究助成の為	奨学寄付 ヒロセ補強土株式会社	2025 年 9 月	-	代表
8	矢野 桂司	教育研究助成の為	奨学寄付 アジア地域国際セーフコミュニティ支援センター連合	2025 年 12 月	-	代表
9	花岡 和聖	なみえまちあるき〜こどもたちが主役の復興まちづくり〜	助成金 公益財団法人セコム科学技術振興財団	2025 年 6 月	2025 年 11 月	代表
10	金 度源	文化遺産防災における国際的な研修事業の e-Learning システム構築	助成金 一般財団法人放送大学教育振興会	2025 年 6 月	2026 年 3 月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1	大窪 健之	地域防災情報システム	本学共同者	その他	特願 2016-185148	案件管理番号：2016-033	特許 6742209	日本
2	大窪 健之	消火用ノズル	本学共同者	筆頭発明者	特願 2016-058908	特 開 2017-169788	特許 6697918	日本
3	福水 洋平	Two-dimensional code, generation device, and reading device	本学共同者	その他	18/421,208		12,260,290	アメリカ合衆国

4	福水 洋平	水たまりの深さ推定システム	本学共同者	筆頭発明者	特願 2025-027256			日本
5	福水 洋平	水溜まりの深さ推定装置および水溜まりの深さ推定方法	本学共同者	筆頭発明者	特願 2025-065063			日本
6	藤本 将光	透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
7	藤本 将光	土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本